

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	永町 友恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学 (旧約聖書)	1	前期	必修	はい	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生たちにとってみると、最初の大学の学期であり、聖書を学ぶことも初めての学生が多いので、分かりやすくなるように準備しました。私自身初めての対面講義でしたが、昨年度のオンライン講義の良い面であった視覚的に説明するために、ユーチューブなどの教材も積極的に取り入れ、また教会音楽を通して聴覚的にもキリスト教会の雰囲気味わえるように工夫して、色々なジャンルの教会音楽を紹介しました。さらに聖書の言葉を信じた、キリスト者の人生からも学べるように何人かの人物を紹介して学んでいただきました。昨年度からの改善面は講義中にあまり質問が出ませんので、講義最後の感想の中質問を書いていただきました。そして次の講義冒頭で答えました。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は9割前後であり、再試対象は0名であった。多くの者が100点近かった一方で数名がぎりぎりのラインであった。意欲的な学生とそうでない学生がいるのが見て取れる。</p> <p>自己評価到達度が4.0を超え、他の学部とみても見劣りはしていない。しかしコミュニケーションにおける評価が低いのはダイアログ的な質問などができず、またグループで会話などもしなかったからだと思われた。そのことに関する改善を今後とも模索したい。</p> <p>また昨年度よりオンライン講義から対面講義になったことからその利点を生かしていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は「一般教養科目」であるが、「創立精神であるキリスト教」を学ぶ要の位置にあり、必修である。自分の生き方、福祉の精神がどこから生まれたかを学べるようにしていきたい。しかしキリスト教に関心がない学生も受講するなど、動機付けに苦慮する面がある。この課題に応えるように工夫し、学生が意欲的に学べるようにしたいが、一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考えている。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価から全般に達成度がやや高かったと思う。しかしコミュニケーションの項目が低いので何とか次はこの項目の数値を上げたいと思う。また講義における記録が少ないのは、プロジェクターノートをそのまま与えていることのゆえだろうと思う。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.5と低かった。発言を促す機会を自分なりに作ったが、なかなか発言してもらえなかった。予習や復習の時間を30分ほど取る学生が65%弱いたことは良いのではないかと感じたがもう少し取れることを促したい。次年度に向け、第一に、もう少し学生たちとダイアログで質疑応答や、意見を求めていきたい。また聖書を学ぶことは自分の将来に役立つことを、信仰者の事例をもう少し加えて授業活かしたい。</p> <p>また図書館の利用やインターネットの検索により更なる学習ができることも伝えていけたらと思う。要望であるが、前期は教室が広すぎた。しかし後期で用いる部屋がサイズの良かったので、要望はないものとする。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本校の創立者精神を学ぶ本科目の位置づけから、キリスト教の基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生たちの発言の面では課題を残した。この点は、今後色々なことを試しながら改善してみたい。例えば発言による加点制度である。また、この学びにかなり消極的な学生に対してどのように興味をもってもらうかを引き続き探していきたい。</p> <p>インターネット教材を用いたが、それをしすぎると、私の講義に対する集中度が落ちるような気もした。それなので、あくまでも講義で伝えるににくいものだけにに対してインターネットを使用するだけにと改善を図りたい。</p> <p>以上から、この学問と学生の人生の具体的なリンクを示して、可能な限り聖書を通して自分自身や他者との関係を考える時間をとり、さらなる学びを提示するようにすることを加えていきたい。また、ダイアログを活かしての授業を行える時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	浅野 嘉延

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と西南女学院のあゆみ	1	前期	必修	はい	81

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目の名称通りキリスト教に重点を置き、また、西南女学院と大学の歴史的転換点においての内部での議論やその後の方向性について講義出来る方々を厳選させていただき、講義を行った。宗教主任補佐のラス・ボーグ先生は本学院についての研究者であるため、動画による3回の講義をお願いした。クラスポートフォーリオ提出8回、及びまとめレポート20点で合計100点とした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の出席率は全ての講義時間において各学科で90%を超えており、出された回答は熱心に書かれ、講義の内容も十分に把握されていた。講義者により多くの画像が配信されたため、印象深い回答がほとんどであった。したがって大部分の学生の成績は優、あるいは秀であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP：この科目は総合人間科学の必須科目であり、本学の寄付行為や建学の精神、また、大学の設置趣旨の最初の項目に相当し、CP上妥当であると考え

る。
DP：この科目の目標は①西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。②設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。③キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる、であり、DP1-1とDP4-1に相当しており妥当と考える。

上記より、内容的妥当性に問題はないと思われる。

なお、全学科の到達度自己評価の平均値は3.8で、自由記述からも特に問題点は見られなかった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、提出物の評価基準、学習範囲や課題、理解しやすさの平均は4.1であった。大人数授業のため学生参加の機会、質疑応答の機会提供が難しいが、今後は学生が発言できる機会を積極的に設けていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

久しぶりの対面授業、そして今年度は100周年ということもあり、どの学科の学生も意欲的に学ぶことができた。今後も、学生が本学の歴史や特色を十分に理解した上で、それぞれの専門科目に取り組み、西南女学院生としての自己形成の土台を築くことができるよう、内容を工夫したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅠ	1	前期	必修	いいえ	81

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は55名、回答率は67.9%であった。学生の受講動機は「必修科目である」が94.5%、「単位数を確保する」が20.0%であった。この科目は、全体での共通の講義のほか、教員のオムニバス形式(4回1クールで行うので、実際に学生が受講する教員は3名)で行う科目であることから、各教員の専門性を重視しつつ、大学における学びで必要不可欠である「調べる」「聞く」「読む」「書く」ための技能を身につけることを目的として授業を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>成績評価について、理想的レベル(90点以上)に達した学生は29名と昨年より大幅に増加した。また、出席数不足は3名(うち1名休学)いたが、再試験対象者は0名であった。到達度自己評価をみると、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.5、「自分なりの目標を達成した」の平均値が4.3、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.2であった。平均値が3.8であった「職業選択の選考になった」を除き、その他の項目も平均値は4.1～4.0を示しており、今年度は全面的に対面授業で行ったこともあり、全体的に昨年度より0.1～0.4高い数値を示している。学習量について、授業の準備回数に関する項目ごとに10名前後いることから、昨年度のような極端なばらつきは見られなかった。図書館等の利用については、図書館の図書、雑誌を利用した学生は37名と大幅に増加したうえ、学術データベースを利用した学生も15名にのぼった。これは、3年ぶりに図書館の使い方についての講義を行った効果も大きいと考える。なお、インターネットを利用した学生は34名であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「必修科目」、「総合人間科学科目」であり、大学における学習の技能を身につけるための科目である。当然福祉の専門領域を学ぶための技能を身につけるための科目でもあり、内容的には妥当であると考ええる。②DP行動目標から見ると、すべてのDPの基礎となる内容を網羅しているともいえる。よって、内容的妥当性には問題ないと考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値がともに4.5、「説明は理解しやすいものであった」、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が4.4であり、昨年度とほぼ同様の数値を示している。他方、学習量について、授業の復習を全くしなかった学生は12名と昨年度より減少し、1回以上は復習を行っていた学生は増加した。なお、6回以上した学生は9名であった。授業の課題以外の学習に取り組んだ学生は21名であり、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習については、「インターネットで調べた」、「図書館で関連する本を多く読んだ」、「配布資料を見返した」、「レポートの書き方について学んだ」などが挙げられていたが、これらはいずれも授業の課題と密接に関連する学習でもある。他方、授業の課題以外の学習に取り組まなかった学生も34名いたが、その理由については、「課題で手一杯だったから」との回答が多かったほか、「時間がなかった」、「取り組み方がよくわからなかった」、「課題だけで十分だと思ったから」との回答も見られた。学生の意見については、「先生が変わる度にさまざまなテーマがあって新鮮で楽しかったです」と、この授業形態を肯定的に評価する意見のほか、「レポートの書き方を詳しく学ぶことができた。自分ができていない箇所を指摘してくださることで足りない部分を知ることができた」、「レポートの書き方を詳しく、違う視点で教えて下さり分かりやすかったです。読む側の事を考えながらいかに読みやすくするかを意識するのが難しかったです」、「初めは、レポートをどのように書いたらいいのか分からなかったが、この講義を学んだことによって、段々と書き方が分かってきて、自分の伝えたいことを書けるようになったと思う」との回答が見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

この科目においては、全学共通の総合人間科学科目として「調べる」「聞く」「読む」「書く」技能の習得に重点を置いたが、当初の目標はおおむね達成できたと言える。後期に行われる「初年次セミナーII」ではこの科目において培った各技能を基に、研究倫理のほか、さらに「発表する」「討論する」技能の習得を目指し、「初年次セミナーI」「初年次セミナーII」を通じて、専門教育が本格化する2年次以降の学習をより深めるため、大学で学ぶための基礎的な知識、技能を身に付けることを目指す。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	はい	84

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業においては、学生の興味・関心を引きつけられるように、健康・体力に関する身近な事例をできる限り多く挙げるようにした。また、健康・体力に関する最新のエビデンスを紹介した。</p> <p>毎回の授業において理解度チェックを行うと同時に、質問を受け付けることによって、学生の理解度を把握し、理解が不十分であったと思われる事柄については次回の授業で説明を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は76.9 (±11.0) 点であった。成績分布別にみると、90点以上が15%、89～80点が31%、79～70点が24%、69～60点が30%であった。ほとんどすべての学生が標準的レベルに達しており、そのうち46%の学生が理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」では、「かなりそうだと思う」が55%、「わりにそうだと思う」が30%、「まあまあそうだと思う」が15%とすべての学生が肯定的に捉えていた (平均値4.4)。</p> <p>「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」とい質問では、「かなりそうだと思う」が64%、「わりにそうだと思う」が26%、「まあまあそうだと思う」が10%と、ほとんどすべての学生が肯定的に捉えていた (平均値4.5)。また、「事象 (自然、人、社会、歴史など) を理解する視点や考え方を得ることができた」という質問では、「かなりそうだと思う」が49%、「わりにそうだと思う」が32%、「まあまあそうだと思う」が18%と、ほとんどすべての学生が肯定的に捉えていた (平均値4.3)。</p>					
<p>*根拠として、成績 (トータル成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

総合人間科学の「女性と健康」領域に含まれる科目である。授業では主に定期的な運動がどのようにして生活習慣病を予防し、体力を向上させるか、さらには運動の効果をより大きくするために、どのように運動を計画していくのかなどについて解説を行った。「自分なりの目標を達成した」および「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価では、ほぼすべての学生が肯定的な回答を行っていたことから、本科目はDP、CP、カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による授業の質評価では、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」以外の質問では、平均値が4.2～4.6であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考えるが、授業時間内において学生がもう少し主体的に学ぶ時間を設けたいと考えている。

学習量の評価では、「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」の質問について、「していない」が48%、「取り組んだ」が52%と、およそ半数の学生が授業課題以外の学習に取り組んでいなかった。授業課題以外の学習で、学びを深めることの必要性や楽しさを伝えることによって、学生の学びの意欲を高めたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

目標は概ね達成できたと考える。
今後はさらに学生が内容を理解しやすくなるような工夫と、学習に対する動機づけをさらに行なっていく。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
チームスポーツ	1	前期	選択	はい	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、からだを動かすことが中心のスポーツ実技の授業であり、学生が積極的に自律心をもって楽しく行えるように、指示は必要最小限にした。また、カロリーカウンターを用いることによって、授業中の歩数や消費カロリーを把握させ、からだを動かすことへの動機づけを図った。</p> <p>チームスポーツでは、チームのメンバーが固定的にならないように、種目が変わる毎にメンバーの入れ替えを行い、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることができるよう工夫した。また、試合後には必ず良かった点や悪かった点、次の試合に向けての改善点（課題）などをチームで話し合わせ、記録用紙にまとめさせることによってチームで活動することの意義を考えさせた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は83.8 (±10.6) 点であった。成績分布別にみると、90点以上が36%、89～80点が41%、79～70点が11%、69～60点が8%、60点未満が4%であった。ほとんすべての学生が標準的レベルに達しており、77%の学生は理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が59%、「わりにそうだと思う」が28%、「まあまあそうだと思う」が13%とすべての学生が肯定的に捉えていた (平均値4.5)。</p> <p>「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価 (質問項目2と3) についても、「かなりそうだと思う」が30～48%、「わりにそうだと思う」が37～39%、「まあまあそうだと思う」が15～22%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた (平均値3.9～4.3)。</p> <p>「態度 (DP4)」に関する学生の到達度自己評価 (質問項目9) についても、「かなりそうだと思う」が39%、「わりにそうだと思う」が35%、「まあまあそうだと思う」が24%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた (平均値4.1)。</p>					
<p>*根拠として、成績 (トータル成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は総合人間科学の「女性と健康」領域に含まれる1年生対象の科目である。授業では体力向上を目指した運動（ストレッチング、筋力づくり運動およびスタミナづくり運動）の実施方法に実技を交えて解説した。また、チームスポーツ（バスケットボール、バレーボール、フットサル）の技術練習およびゲームを行った。特にチームスポーツでは、授業の最後にゲーム中の良かった点や悪かった点など振り返り行わせ、次に向けてのチームの課題について話し合わせた。その結果、回を追う毎にゲーム中の声掛けが良く行われるようになり、より積極的なプレーが観察されるようになったように思える。このようなことから、本科目は内容的に妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による授業の質評価は、平均値が4.0～4.4であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。

本科目では、各種トレーニングおよび球技スポーツを実技として行うため、講義の時のような予習・復習を必ずしも必要としていない。そのことを反映してか、ほとんどの学生は予習・復習を行っておらず、その必要性もないと考えている学生も数人いた。このことに対しては、球技スポーツのルールや練習方法などを調べさせ、レポートとして提出させるなどしたいと考えている。

また、日常生活を活動的に過ごすことが、健康や体力の維持・増進につながることを考えれば、学生自身に日々の歩数や消費カロリーを記録させ、それを提出させることは、運動することへの動機づけになると考える。すでに学生の中にはウォーキングや筋力トレーニング、ストレッチなどを行っていた者もいた。来年度は、このような活動的な学生が更に増えるように工夫したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね目標は達成できたと考える。

今後の課題としては、本実習以外でも積極的にからだを動かし、健康の維持・増進に努める学生の数を増やすことである。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	3	前期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていないことが多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、アニメやネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどを新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。新聞作成はグループの作業となったので、個別の評価は各回の授業の感想において、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることのできるかを加えた。ほとんどの学生がジェンダーを自分の問題としてとらえる力は身につけていた。新聞作成においては、グループで個性が際立ち、文章力、情報収集力など特徴が異なるため、ジェンダーをめぐる課題を社会構造と結び付けられているか、意欲関心が表現されているかを評価した。基本的に、テーマに関心の高い学生が集まっており、基準には到達していた。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>	<p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

新聞記事として表現された内容から、ジェンダーをめぐる現状に社会的解決が必要であること、それ実現するために求められる施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、関心の高いテーマ（例えばLGBTなど）へは考察が深い、より多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉える力が不十分な学生も見受けられた。ただ、グループ討議などで他者の意見を聞くことで、おおむね新たな気づきにつながっていたと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

開講以来、初めてすべて授業を対面で実施し、グループ討議がより活発に行われた。自分自身の意見を述べることや他者の意見を聴くことに、楽しさを見出していた。特に、学科を超えてグループを作ったので、通常では話せない学生同士で思わず深い話ができただけでもあった。一方的な講義より、理解が深まったものと思われる。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を政治や経済と関連する理解へと結びつけることは、継続的な課題である。最終回で新聞作成をしたが、グループによっては時間が足りないという不満も出たので、時間配分については再考したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	伊藤 直子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保健福祉学入門	1	前期	必修	はい	82

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、1年生前期に配置された必修科目である。保健福祉学部の教育への導入科目となっている。看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種協働の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題の認識を深めていくものである。</p> <p>受講動機には「必修科目である」が98.7%となっており、「関心のある内容である」は26.9%であり、初学者である受講生にはシラバスのみでは、授業の意図する部分については理解されにくいことが考えられる。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、84.6点、再試対象者は0名であった。標準的レベルに達した者97.5%、内、理想的レベルに達した者81.0%であった。</p> <p>目標別にみると、知識理解は88.7%、関心意欲は79.4%、態度は77.4%であった。</p> <p>到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」が4.0、であり、科目の教育目的は一定の成果が出ていると評価できる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本科目は、保健福祉学部の教育を学ぶにあたっての必修の導入科目である。
到達度自己評価および最終的な成績評価からも科目の目的は、果たしていると判断でき、内容的にも妥当であると考ええる。

②DP,行動目標からみでの内容的妥当性
知識理解、意欲関心及び態度に位置付けられた科目である。知識理解は88.7%、関心意欲は79.4%、態度は77.4%であり、概ね内容的には妥当であると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」については、4.0であるが、「説明は理解しやすいものであった」が3.7となっている。全学科の学生が理解を深める講義となるよう担当する教員で共有し検討したい。
自由記述では、3学科合同講義の意義を理解し知識を深めることができたことや見聞を広めることができ、これからの学びに関心が深まった等の意見が寄せられていることは、保健福祉学の導入科目としての目的を果たしていると考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の達成状況については、授業成績及び授業評価アンケートより計画している状況は、概ね達成できていると評価できる。
学生が4年間の学びのスタートとして、保健福祉学への理解と関心を高める科目としての目的を果たせるよう、担当する教員とさらなる充実を目指したいと考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生物と生命科学	1	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①高校で学ぶ生物を基礎に、大学での講義に興味や関心がもてるように、“生活のなかで気づく体の正常なしくみと異常(疾患)”に焦点をあて講義を行った。難しいと思われる内容は、理解しやすい言葉・表現を使い、事例を展開しながら説明した。</p> <p>②早期からの振り返りと主体的学習を促す意味で、講義進行に併せ講義の重要な点をまとめるための「ポイントの整理」を8回提示した。</p> <p>③また、小テストを2回実施し、試験後に問題の解説と成績開示をすることで、学びへの意欲・モチベーションを高めるようにした。</p> <p>④理解することが難しい内容については、講義開始時に前回の講義の復習を取り入れ、繰り返し説明した。</p> <p>⑤学習課題の評価項目に雑誌・図書を使うことを明記することで、学生に図書館活用を促した。</p> <p>⑥講義中に学生の反応を見ながら積極的に質問をするよう促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①総合評価の平均値は77点（±12.7）で、73%の学生が標準的レベル（70点以上）に達し、理想的レベル（80点以上）に達した学生は55%であった。筆記試験の平均点は59/80点（得点率74%）、小テストの平均点は14/20点（得点率70%）、講義後の提出課題の平均点は9.2/10点（得点率92%）だった。</p> <p>②学生の到達度自己評価では“自分なりに目標を達成した4.6”、“新しい知識など得ることができた4.9”、“事象を理解する視点を獲得することができた4.6”であった。また“専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた”とする自己評価平均値は4.3だった。</p> <p>③授業の質評価では、“テストの評価基準や課題の明確さはともに4.9”、“説明の理解しやすさ4.7”、“質問を受ける機会を設けていた4.9”と、今年度の授業改善に一定の効果が認められた。</p> <p>④学習量の評価をみると1回30分の予習・復習を2～3回以上した学生が43・86%、また、課題以外に学習に取り組んだ学生が57%いた。学生からも「興味を持ったことを調べた」、「ポイント整理をした」などの意見があった。</p> <p>④図書館で図書・雑誌を利用した学生は100%、学術データベースを利用した学生は86%と、利用率は高く、課題評価項目に雑誌・図書の利用を提示した効果が認められた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性

本科目は、大学で学ぶ生物学として、高校で学ぶ生物学を基礎に専門基礎科目や専門科目へと講義内容を展開していく。このような点から、CP、カリキュラム上の位置付けは妥当であると考えられる。

②DP, 行動目標からみての内容的妥当性

上記に記載した学生の自己評価や成績の状況から、学生が学ぶ内容としては妥当であったと思われる。学生からも「興味を持ち理解を深めた」との意見があり、講義内容に関心を持ち取り組んだ様子が示された。

③まとめ

上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であるといえる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①学生の質評価は、"テストの評価基準や課題の明確さは4.9"、"説明の理解しやすさ4.7"、"質問を受ける機会を設けていた4.9"だったことから、今年度、取り組んだ授業改善には、一定の効果があったと思われる。次年度も引き続きこの改善策に取り組む。

②加えて、次年度は学生参加型の講義を意識し、学生の積極的な講義姿勢を引き出すために学生と応答しながら講義を行うなどの工夫をしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

一般教養科目としての本科目の位置づけから、生物学の基礎を固め、大学での学びに必要な生物学の知識を修得するという目標のもと講義を実施した。受講生の多くが概ね目標を達成した。かなり難しい内容も含まれていたが、学生は図書館を利用し、学術データベースを利用するなど積極的な学修姿勢を示している。次年度も学生の興味・関心を引き出し、学生参加型の講義を加えるなどして、より主体的学修姿勢を引き出すような講義を行いたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	齋藤 朗宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
数学リテラシー	1	前期	選択	はい	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業アンケートの結果からも到達度自己評価において平均的に3.5～4程度の結果になっており、ある程度達成できたとは考えている。ただ、オンデマンド配信の形式から対面授業への形式に戻った結果か、課題の難易度は大きく動かしていないにもかかわらず平均成績がやや低下している点が懸念事項である。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は特定の学科のカリキュラムに関連すると言うよりは、全学共通の教養科目であるため位置づけは難しいが、学習到達度について概ね達成されたと評価できるため、この点についても大きな問題はないと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学修時間等はある程度確保されており、基本的には問題なさそうである。ただ、オンデマンドで実施していたときには課題を実施しながら復習するなどが可能であったが、対面に戻った結果そういった復習の仕方ができなくなったためか、平均成績が低下している点が懸念事項としてあるため、配付資料などから復習しやすくすること、また、毎週の課題が成績評価上重要であることをもう少し繰り返し指導していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

オンライン授業になった2020年度に授業の進め方などを見直し、それに基づいて本年度も授業を実施した。その結果、基本的には成績評価の基準も明瞭になり、何をやれば良いのかという意味ではわかりやすくなっていると言えそうである。一方で、一度しか聞くことのできない対面授業という前提に基づいて、もう少しわかりやすくする点については改善していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こころと人間	2	前期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>心理学の分野に期待が高まっている。本講義では基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「生き方の模索」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は講義中の集中力をいかに途切れないようにキープさせるかという点であった。このため講義途中で「映像」を多く取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良しの合格点を取った学生はほぼ100パーセントに達した。定期試験は記述式がその中心であるが、記載の内容も的を得たものでありしっかり書かれており理解の進んだものであった。また学生の授業評価アンケートの記述にも「ためになった」「分かりやすかった」「面白かった」などが多数あり知識理解と意欲関心について一定の水準を保ったことが伺えると思った。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

毎年の効果を感じている方法を使用した。毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「質問の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の人生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

毎年の課題であるが、自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良いので今年も試みたが授業アンケートの結果からまだまだ改善されていないと言える様である。昨年同様に学習量が高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後さらに試行継続してみたい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

年度当初の学生に提示したシラバス上の「期待した行動目標」は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人か存在する。注意の仕方に工夫をくわえたい。睡眠学習者0を達成するのは容易ではない。今年度取り組んだ映像や教師の発問、討議話題の挿入などまだ工夫の余地を継続して続けたい。がんばりたいと思う。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
法学	1	前期	選択	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は15名、回答率は48.4%であった。受講動機を見ると、「関心のある内容である」73.3%、「単位数を確保する」53.3%、「資格取得に必要である」33.3%であった。昨年度に引き続き内容に関心のある学生が多い。この科目は資格取得に必須ではないが、シラバス・イントロダクションにおいて、「権利擁護を支える法制度」(3年後期)および「刑事司法と福祉」(4年前期)をはじめとする社会福祉士・精神保健福祉指定科目の内容の基礎となる旨を述べている。保健福祉学部3学科同時開講の科目のため、福祉に特化した授業内容にするのは困難であるが、学生が具体的なイメージを持ちやすい事例を挙げて、関心を引き付けるように努めた。加えて、今年度は一部遠隔授業で実施したが、学生の身体面での負担軽減と集中力の維持にも重点を置いた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度より全面的に対面授業となったが、昨年度と同様に授業中の確認テスト・コメントおよびレポートで成績評価を行った。素点の平均点は79.26点、理想的レベル(90点以上)に達した者は2名、不可と評価した者は0名であった。平均点は昨年度(75.63点)より上昇している。学生による到達度自己評価については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.3、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値は4.2、「自分なりの目標を達成した」の平均値は4.2であった。このほか、DPには加えていないが、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値は4.3、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値は4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値は4.0であった。これは「法学」という科目そのものの特性のほか、講義の中で社会における具体的な事件を用いて説明したことにより、講義のポイントを学生が理解できていることによると思われる。全体的には、昨年度より0.2ほど低下している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみると、本学は「総合人間科学」科目であり、国家試験の試験科目ではないが、シラバスにも明記してある通り、福祉専門科目である「権利擁護を支える法制度」、「刑事司法と福祉」をはじめとする社会福祉士・精神保健福祉指定科目の内容の基礎となる。また、将来社会の中で、対人社会サービスの担い手となる学生にとって、人々を総合的に理解するための基礎を得るためには重要であり、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。②DP行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考えます。よって、内容的妥当性には問題ないと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は4.4、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値はいずれも4.3であった。いずれも昨年度とほぼ同様の数値を示している。学習量の評価について、講義内で予習・復習のやり方について説明したが、全く予習をしなかった学生は10名、全く復習をしなかった学生は9名で、予復習を行っている学生の割合は昨年度より大幅に減少している。授業以外に学習していない理由として「他の科目で手一杯だったから」、「授業で満足していたから」、「何をしたらいいかわからない」などの意見が見られた。他方、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習については、「自分で教科書を読んで理解を深めた」、「民法について調べた」、「確認テストのやり直し」などの意見が見られた。学生の意見については、「少年法、社会保障制度など広い分野の知識を身につけることができた。学生が書いた質問に答えてくださったのでより理解を深めることができた」との意見があった。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

総合人間科学科目とする本科目の位置づけから、人間を総合的に理解するための基礎的な知識の形成についてはおおむね達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特にないと考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	納富 末世

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	選択	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をアンケートの数値より確認すると、「必修科目である」51%、「資格取得に必要である」44%、「関心のある内容である」31%、「単位数を確保する」42%となっており、本科目を避けては通ることができない学生が多いが、いずれの動機であっても学習効果を最大限に得る必要があると感じた。</p> <p>②英語に対して苦手意識をもっている場合は、苦手とする文法事項について、シラバスに記載したように個別に課題を出すことで苦手意識をできるだけ解消できるようにした。</p> <p>③授業においては、学生の興味関心および学習意欲を喚起できるようにつとめ、毎回の授業で可能な限り全員に質問を投げかけることにより、学習準備の効果と学生の理解度を確認した。</p> <p>④学習準備として、苦手得意に関係なく取り組める単語の意味および読み方の確認、英文の内容把握と音読練習を行うことで授業の学習効果の向上を意図した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81点（100点満点）であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したことを評価したい。知識理解および技能表現に関しては、小テストの平均値が16点（20点満点）であったことから学習の効果がある程度は得られていると感じている。また、授業内で英文の音読を指名ではなく自発的に発表するかたちでおこなう機会をもうけた時は予想を超える数の学生が音読に挑戦し、学習意欲の高さを感じた。一方で、英語を読む際には、どうしても自信のない様子になる学生がいるため、基礎的な文法力と作文力に加えて声を出す練習が不可欠であることを今一度、学生に浸透させる必要がある。声を出すには心を開ける環境が必要であることから、学生が心を開いて積極的にのぞめる授業作りを今後も自身の課題とする。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

今回、受講動機には「必修である」「資格取得に必要である」「関心のある内容である」「単位数を確保する」といった項目があげられた。いずれも最大限の学習効果を得るに値する動機ではあるが、実際には「単位数を確保する」ために受講する学生と「関心のある内容である」ために受講する学生の学習動機には差があることを認識する必要がある。英語に関心をもち、また、英語が得意で自らの語学力の向上を図るために授業を受ける学生もいれば、英語が苦手な英語学習は最小限にしたいと願う学生といったようにさまざまな学生がいる中で、本科目での英語学習とそれぞれの人生設計に分断が生じないよう、現段階で福祉系の職に就くか否かを含めて学生が自分の将来をどのように考えているのか等をたずねながら、本科目で努力し、獲得したことは今後のどのような進路においても活かせるのだということが学生に伝わるようつとめて授業をすすめた。職業選択の参考になった」という回答者が55名(70人中)という数字もあり、試験の結果においても、受講動機に関係なく学生は一定の成績をおさめていることから内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業において図書館を利用をした学生がほとんどいなかったため、来年度は図書館を使うための課題を用意したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「必修および資格取得に必要である」ということが本科目の主な位置づけから、アンケートの数字を見ても毎回の授業で準備をしてきた学生の数は70名中62名と多く、その結果が知識の達成度につながったと考える。ただ、授業の課題以外に学習に取り組まなかった学生の意見が「テキストの予習課題だけで精いっぱいだった」と「テキストの課題を解くだけ習得できるからしなかった」という意見とに分断されていた。来年度は全ての学生が取り組みやすい効果的な学習法を考案していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	納富 末世

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
実用英語コミュニケーション	2	前期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をアンケートの数値より確認すると、「必修科目である」47%、「資格取得に必要なである」62%、「関心のある内容である」18%、「単位数を確保する」27%となっており、本科目を避けては通ることができない学生が多いが、いずれの動機であっても学習効果を最大限に得る必要があると感じた。</p> <p>②英語に対して苦手意識をもっている場合は、苦手とする文法事項について、シラバスに記載したように個別に課題を出すことで苦手意識をできるだけ解消できるようにした。</p> <p>③授業においては、学生の興味関心および学習意欲を喚起できるようにつとめ、毎回の授業で可能な限り全員に質問を投げかけることにより、学習準備の効果と学生の理解度を確認した。</p> <p>④学習準備として、苦手得意に関係なく取り組める単語の意味および読み方の確認、英文の内容把握と音読練習を行うことで授業の学習効果の向上を意図した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は82点（100点満点）であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したことを評価したい。知識理解および技能表現に関しては、小テストの平均値が14点（20点満点）となっており、一定の学習効果が認められた。また、授業内でおこった口頭での英作文では、どの学生を指名しても前向きに取り組む等の学習意欲の高さを評価することができた。しかしながら英語を使う際には、どうしても自信のない様子になる学生が少なくない。語学の授業であるため、声を出す練習が不可欠であることを今一度、学生に浸透させる一方で、声を出すには心を開ける環境が必要であることから、学生が心を開いて積極的にのぞめる授業作りを今後も自身の課題とする。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

今回、受講動機には「必修である」「資格取得に必要である」「関心のある内容である」「単位数を確保する」といった項目があげられた。いずれも最大限の学習効果を得るに値する動機ではあるが、実際には「単位数を確保する」ために受講する学生と「関心のある内容である」ために受講する学生の学習動機には差があることを認識する必要がある。英語に関心をもち、また、英語が得意で自らの語学力の向上を図るために授業を受ける学生もいれば、英語が苦手な英語学習は最小限にしたいと願う学生といったようにさまざまな学生がいる中で、本科目での英語学習とそれぞれの人生設計に分断が生じないよう、現段階で福祉系の職に就くか否かを含めて学生が自分の将来をどのように考えているのか等をたずねながら、本科目で努力し、獲得したことは今後のどのような進路においても活かせるのだということが学生に伝わるようつとめて授業をすすめた。アンケートには「職業選択の参考になった」という回答者が40名(59人中)という数字もあり、試験の結果においても、受講動機に関係なく学生は一定の成績をおさめていることから内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業において図書館を利用をした学生がほとんどいなかったため、来年度は図書館を使うための課題を用意したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「必修および資格取得に必要である」ということが本科目の主な位置づけから、アンケートの数字を見ても毎回の授業で準備をしてきた学生の数は48名中59名と多く、その結果が知識の達成度につながったと考えるが、来年度はもう少しこの数字を増やしたい。学生の知的好奇心や学習意欲を刺激するテーマをできるだけ多く授業でとりあげて効果的な学習法の例を随時、示していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語入門	1	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は初めて中国語を学習する学生を対象とし、中国語の入門知識をマスターすることを目標としています。授業の実施にあたり大切にしていることは2つありました。1つは、学習者に中国語の特徴と学習方法を把握してもらうこと、もう1つは学習者が楽しみながら、しっかり練習できるようにリズム感のある授業にすることです。</p> <p>②開講時に学習目標や学習方法、評価方法を明示した。毎回の授業に授業スケジュール及び予習・復習の内容を学生に明示し、予習・復習してもらった内容は必ず学生に発表してもらい、間違ったところを訂正し、分かりやすく説明しました。受講動機は「関心のある内容である」が80%であったので、大多数の学習者の受講動機に合ったものと考えられます。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>大多数の学生は毎回の授業に真剣に取り組み、各課の小テストも期末試験も優秀な成績を収めたことから上記のように評価した。</p> <p>また、学生による到達度自己評価において、「到達度自己評価」において、(1)自分なりの目標を達成したの項目の中央値も、(2)知識の確認、修正したり、新たに得ることができたの項目の中央値も、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができたの項目の中央値が5.0であることから上記の評価は適切であったと言えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容の妥当性
本科目は「総合人間科学」に属する選択科目である。学生に中国語の学習方法を伝え、中国語学習において、分かる、できる、つながるという喜びを感じさせ、中国語大好き人間にさせることが最も重要だと考えて授業を進めた。学生が優秀な成績を収めたことから、内容的には妥当であったと考えられます。

②DP、行動目標からみての内容的妥当性
「受講動機」は関心のある内容であったことや、「到達度自己評価」において、(1)自分なりの目標を達成したの項目の中央値も、(2)知識の確認、修正したり、新たに得ることができたの項目の中央値も、(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができたの項目の中央値が5.0であることからみて、内容的には妥当であったと考えます。
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

常に学生の学習状況を確認し、無理のないように授業を進めた。
「授業の質の評価」の5項目の中央値はすべて5.0であることから授業の進め方は適切であったと言えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「授業の質評価」5項目の中央値はすべて5.0であることから、総括的に高い授業効果が得られたと評価する。
如何にしてすべての学習者に同等程度の授業効果を得られるかが課題です。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	韓 京我

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハンゲル入門	1	前期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①今回の受講動機をみると「関心のある内容である」80%、「単位数を確保する」60%との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組みたい。②授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。③毎回小テストと会話練習を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。④授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由には、「どのようなことをしたいかわからなかったから」もあったため、これについて復習項目と次回講義の予告をすることで自習を促す。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試験対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上）に達したものは、4名だった。目標別に見ると、知識理解に関しては90%、機能表現は85%であった。知識理解では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また機能表現では、文字読み取りテスト、挨拶テストと自己紹介テストの実施で、「知識を新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で高い満足度が見られ、講義の重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。②DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。③まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかり把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。また韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるよう努めた。最終テストでは全員の平均点が高く、語学の基礎的レベルには十分達したと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	3	前期	選択	はい	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年是对面での講義が叶ったので、かなり学生との交流があり、理解度がこちらに把握できた点良かったと思う。特に日本語表現法は、単なる座学のみではなく、演習の要素を併せ持つことも大切になってくるので、じっくり考える時間を設けることが出来たので、教師と学生との信頼関係も増したのではないかと思う。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	75%から80%あたりまでは習得できていると思われる。学生たちの集中力はなかなかのもので、他の学生たちの文章をも披露しながら講義を進めた。まずは短文作成に力点を置き、そこから次第に長文完成形へと進むので、わかりやすかったようである。それでいて早く実力もついたはずである。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、75%から80%は活かされていると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本来は、小グループに分けて文章構成の見直しをするのが一番実力がつく方法であるが、この度は、コロナ禍のため「一文構成」という手法で基礎力を高めた。さらなる長文への前段階として力の付く手法である。これはこれとして理解度は増したようであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

出来得る限り、マンツーマンの個別指導を徹底的にこなし、学生の理解度を殊更チェックすることを今以上に心掛けたいと思う。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	本間 学

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	前期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であり、さらに学生のスキルの幅も大きいことが予想されたことから初心者を中心として時間を掛けて説明し課題を設定した。</p> <p>今回の受講動機をみると「関心のある内容」が51.2%、「単位数を確保する」が80.5%と、かなり消極的な理由から受講した学生が多いことが示唆するものであった。できるだけ具体的な例を挙げて、関心を持たせることをしてきた。</p> <p>①著作権、SNSの利用、スマートフォン利用に関して動画を利用して理解を深める工夫をした。</p> <p>②PowerPointでプレゼンテーションにおいて個人の技術習得を目指し個人毎にプレゼンテーションを作成しグループ毎で全員が発表した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の成績の平均値は80.8であり標準偏差は10.1であった。成績は課題(80%)、プレゼンテーション(20%)として評価した課題の提出、出席状況、およびプレゼンテーションの発表状況は良く、理想レベル(80点以上)は上まわっているのが良しとすべきだろう。</p> <p>学生の到達度自己評価の平均値は3.6～4.1と学科に比し低いが、「まあまあ」と「わりに」にのみ集中しているので、善くも悪くもなかったという実感ではないかと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性

本科目は「総合人間科学」であり、選択科目である。大学のカリキュラムポリシーにIT活用能力が含まれること、および成績評価から内容的には妥当であると考えられる。

②DP、行動目標からみての内容的妥当性

成績評価から達成度は十分と判断出来ることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業の質評価において、「自分なりの目標を達成した」の平均が4.1、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均が4.3と高かった。

学生の成績とを踏まえて判断すると、授業の目標は達成できたのではないかと考えられる。次年度に向けては、さらに知識を深める努力をするとともに、質問がもっと増え、学生がより積極的に授業に参加できるよう改善していきたい。

②学生の意見として、否定的意見はなかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。ただし、授業過程を振り返ってみたとき、学生同士、学生と教員でのコミュニケーションをとる時間足りなかったことが到達度自己評価、授業の質評価から分かったのでコミュニケーションを取る機会を増やす工夫として学生からの教員への質問カードや学生同士の発表の時間を作るような時間を作るなど、来年度に改善を行いたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報処理基礎	1	前期	選択	はい	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。全授業回のうち、前半は基礎技術の習得を行い、後半は実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。</p> <p>情報関連の知識・技術が今後の学生生活や就職後に必須であることを理解できるよう、課題の内容を工夫した。</p> <p>また、後半では、各自が目指す職業の社会的意義や多様な活動についての情報収集を通し、職業そのものおよび身につけておくべき情報技術について、理解を深め実感を得られるよう学習プロセスをデザインした。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。</p> <p>授業アンケートの到達度自己評価の項目のうち、本科目に特に関係する(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、の結果は良好であった。</p> <p>授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。実際、自由記述に「課題で十分」という記述が多い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけでなく能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であり、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は少ないが、授業を通して理解されるよう努めている。実際、到達度自己評価の項目のうち、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、の結果は良好であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

後半の能動学習を昨年度までのグループワークではなく各個人の一人プロジェクトとしておこない、プレゼンテーションも個人単位で行った結果、プレゼンテーションのクオリティーが向上した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	古川 洋章

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報の理解と表現	2	前期	選択	はい	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、科目名の通り情報処理に関する科目であるため、事前に必要な前提知識についてシラバスで周知をしている。また本年度はアクティブラーニングを実施するため、授業毎に提出された課題から各班のスキルレベルが一定となるよう調整した。昨年度は本授業を初心者向けの情報科目と認識して受講している受講者が若干名存在していたが、シラバスに受講に必要なスキルセットおよび知識について記述し改善を図った。</p> <p>本科目の受講動機をみると、「資格習得に必要である」の項目が62.0%、「関心がある内容である」の項目は18.0%と、昨年度（「資格習得に必要である」：68.8%、「関心がある内容である」：25.0%）と比較し、いずれの動機の割合も減少していた。一方で、「単位数を確保する」の項目が28.0%と高い傾向にあった。本授業は情報系の科目の中では比較的難易度が高い旨を初回のオリエンテーションの際に説明しているが、受講動機とのミスマッチが起きていないかについて、次年度はシラバスや初回のオリエンテーション時に丁寧に説明をしたい。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	どちらともいえない			

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は74.3(標準偏差：10.0)であり、標準的レベル（成績が60点を想定）に達していない受講者が全体の約3.6%（2名）、理想的なレベル（成績が80点を想定）に到達している受講者が全体の約33.9%（19名）であった。成績の平均については昨年度と同等であったが、理想的なレベルに到達している受講者の割合については大幅に増加していることから、受講者間のばらつきが大きい結果となった。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては65.9%、技能表現に関しては70.4%の到達度であり、いずれの項目においても昨年度より低い結果であった。一方で、標準偏差では知識理解が11.1、技能表現が10.0と非常にばらつきが大きい。このことから、受講者間における学習の理解度に大きな差があると考えられ、理解度の低い受講者へのフォローアップを次年度の改善内容としたい。</p>
---	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「養教一種免」に関連する科目であり、「情報機器の操作」における科目として資格取得の上で必修である。単純な機器操作だけではなく、情報モラルや著作権などの情報を扱う上で必要となる知識や、情報を発信するために必要な技術について習得を目指している。近年の情報社会におけるニーズと情報技術の活用の観点から、授業の難易度は高めでであると認識しているが、到達度自己評価の結果や学生の成績状況を考慮すると、内容的には妥当であると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

はじめに「授業と質の評価」において、「(4) 授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が4.2と、学科別集計の平均と比較し高く、この点は評価できる。一方で、「(3) 説明は理解しやすいものであった」の平均が3.9と低く、学科別集計の平均と比較すると低いものの、昨年度の結果である3.3と比較すると向上した。これは、授業が遠隔授業から対面授業になったため、質問しやすい環境になったためと考えられる。

次に授業評価アンケートの学習量の評価では、準備および復習を1回以上実施した割合が78.0%と学科別集計および昨年度の結果と比較し高い結果となった。これは受講者が目標達成に向け積極的に学修に取り組んだものと考えられ、非常に満足している。一方で、授業中の課題については、他の授業の課題もあるため時間が取れないといった自由記述の意見が寄せられた。そのため、次年度については課題量が適切かを考慮し取り組んでいきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

到達目標への達成については概ね達成できた。今年度の課題として、受講者数間の理解度の差と授業外学修における効率の良い課題提示が挙げられる。次年度は、授業内での確認テストを増やし理解度について把握するとともに適切な難易度の課題を提示する等、履修者の状況に合わせたきめ細かい対応を実施していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
北九州の技と文化	3	前期	選択	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>大学の5学科からの受学生（80名）がおり、開講3年目で初めての対面授業となった。最初に採点対象学生数とアンケート回答者数()を示す。看護12名(4)、福祉：26名(9)、栄養：7名(4)、英語：9名(3)、観光文化：26名(6)。福祉学科のアンケートでは、4. 学習量の評価の(1) 授業前の予習時間が、昨年度までは、ほぼゼロであった。これは予習課題を掲示していないことが問題であった。今回は外部講師には授業1週間前には、少なくとも30分は事前学習が必要な教材を公開できるように依頼した。5名の外部講師は、動画、文字資料の形式で課題を出してくれた。4. 学習量の評価の(1) 授業前の予習、(2) 授業後の復習時間については最多の項目は、①(0回)が、それぞれ5名、4名であり、アンケート回答者が9名であることから、半数前後以上が予復習をしていない事実がある。その反面、予復習については⑤(6回)が、それぞれ2名、3名であり、学習への取り組みが二極分化していることが分かる。折角、外部講師に依頼して出してもらった課題であり、次年度は事前にしていることを確認できる方策を考えたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>5学科の成績(%)を示す。看護：A33.3、B25、D25、E16、7。福祉：A26.9、B23.1、C11.5、D7.7、E23.1、J7.7。 栄養：A28.8、B28.6、C14.3、E28.6。英語：A22.2、B22.2、C33.3、D11.1、E11.1、J7.7。観光文化：A19.2、B26.9、C11.5、D19.2、E19.2、J3.8。評価はレポート(60%)とレポート外の提出物とは五人の外部講師の授業についてのコメント5回分(評価40%)とした。前年度までは、レポート100%としており、不合格者が4割出る学科もあったが、今年度はレポートが60%となり、分散された形となり、履修が昨年度よりは容易になったと言える。授業の質評価の5項目の平均を5学科別に%でみる。看護：3.92、福祉：3.12、栄養：2.68、英語：3.54、観光文化：3.42となる。最も低い項目は5学科共に(3)説明は理解しやすいものであったであり、5学科の数値(%)を示すと、看護：3.5、福祉：2.4、栄養：1.8、英語：2.7、観光文化：2.3である。これは厳しい数字であるが、学生の不満が示されているとして、反省する必要がある。福祉学科学生の学習量については、アンケートでは予習と復習が①(0)がそれぞれ5名、4名と出ている。学習量が不足している層が多い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

到達度自己評価の10項目の平均を5学科別に%でみる。看護：3.94、福祉：3.07、栄養：2.72、英語：3.63、観光文化：4.5となる。3年前期の選択科目であり、あくまで総合人間科学の科目であるところが肝要と考える。学生の質問は「北九州の技と文化」でのレポートの形式に集中する傾向があり、なぜ専門の内容に書いてはいけないのかということがよく問われた。対象ではない、DP2（思考判断）、5（技能表現）も、学生からの提出物（コメント、レポート）の評価対象とせざるを得ないところに、DPの配置についてはやや苦しいところがある。しかしながら、論理的思考や表現技能を3年になるまでにはまではある程度鍛えられていると期待したい時期に配置されている授業であり、カリキュラムマップ上の位置づけは妥当だと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

6. 授業の進め方について

福祉学科の到達度の自己評価、授業の質評価については、例年のように厳しい数字が並ぶ。学生の意見は4名でした。集約すると担当者への意見が4つある。1.2人に共通するのは、説明がわかりにくいということ。2.板書がわかりにくい、3.使わないテキスト購入を買わせることについて、4.3年で落とした場合には4年で履修しなければならないことを事前には知らされていなかった。回答します。1. 昨年度までの遠隔授業では、説明が不足して分かりにくいとの意見があり、対面になった本年度は、大きく2回に分けて質問を受ける機会を設け、それに対する回答を授業でPPTを併用しながら説明しました。授業後にはGoogle Classroomで公開しました。その説明が学生の皆さんからすると、わかりにくいということになったようです。次年度は提示する資料を厳選し、説明を要領よく行いたいと思います。2.板書はわかりやすいします。3. テキストは8回授業中の7回で課題を出す旨のアナウンスをしました（4月28日オンライン）。4. 次年度から再試は4年のみにするということをシラバスに書きます。なお、3年次に落とした場合、必ずしもこの選択科目を再履修しないといけないわけではないと考えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総括的評価としては、成績はA,Bで50%であり、授業評価でも昨年比で伸びたので申し分ないのではないかと考える。昨年度の全学科の2. 到達度評価（DP）の10項目の平均（%）を示す。看護：2.9、福祉：2.61、栄養：3.78、英語：4.18、観光文化：3.21。3. 授業の質評価（5項目の平均%）は次となる。看護：3.42、福祉：2.66、栄養：3.76、英語：4、観光文化：3である。福祉では両方の評価は0.3以上、上がった。しかしながら、他学科と比較すると、まだまだであり、更に向上を目指す工夫をしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ボランティア概論	1	前期	選択	はい	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講では、ボランティアや地域貢献活動等の理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としたものである。全7回の講義中、現在進行形で活動しておられる、外部講師を6団体招聘して、リアル講義の工夫をした。</p> <p>特に自分自身で活動を行いたいと思うような気持ちを膨らませられるよう、質疑応答の時間を多く設けるように工夫した。</p> <p>初回講義の時には、この講義で何をやるかということ、ペーパーにして配布し詳細の説明をした。心構えと題してのペーパー（内容は休まない、協力する等の再確認、外部講師の方々へのマナー礼儀の確認）を配布して関心をもたせた。また、毎回、リアクションペーパーの記入で、自分が何をどんな風に学んだかを振り返る時間を必ず設け、考えたことを文章にて表現させ、次の時間に必ずフィードバックをした。</p> <p>なお、今年度も複数学科合同講義で、多人数かつ少々リアルに欠けるところもあったかもしれないが、学生たちのリアクションペーパーから、また外部講師の先生方の力強いご協力により、十分な教育の提供ができたと思われた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通して目標の達成度が達成されたという根拠は、欠席が非常に少なかったということが考えられる。そのことで、学生の意識をしっかりと受け止めることができたと感じている。また、リアクションペーパーの中には、とにかく楽しい授業であった、普通では知ることができないことを学べた、実際にボランティアを始めた、等々の記載内容のものが多かった。当然楽しいだけではいけないので、毎回必ず振り返りを教員と学生と一緒にやって、このボランティア概論の意義と必要性を高めた。そのようなことから、最終的には全員が学びと感動を深めることができ、理想的レベルまで達成できたものと考えられる。</p> <p>講義時間内だけのものになってしまう可能性もあるので、外部講師（ゲストスピーカー）の団体の事前学習の課題を与え、考えさせて興味を持たせるよう工夫して行った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性については、学生の授業評価アンケートの評価や、最終報告から見て、内容としては妥当と考えられる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しても同様で、内容的には妥当であったと思われる。以上のことから、内容的妥当性に関しては問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由」で、「することがなかった」という回答があった。

地域貢献や社会活動、ボランティア等々の重要性について、より具体的に社会の中での状況を興味深く話していき、可能な限りリアルに伝わるようにして、講義以外の時間でも振り返ることができるような意識付けを深めていきたい。

事前の課題をほぼ毎回課したので、インターネットの利用が多かった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講においては、学生からの自己評価やリアクションペーパー、最終講義の時の全体的感想によって、その達成は理想的レベルであると考えられる。

講義内容もゲストスピーカーの方々のご協力を得て、今年度は対面にて、シラバス通りに進化した。

次年度も同様な内容で進めていこうと考えるが、時代をキャッチした内容の講義を展開していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
高齢者支援学Ⅰ	2	前期	選択	はい	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保健福祉学部の3学科（看護学科、福祉学科、栄養学科）による合同授業である。受講動機を見ると、「関心のある内容である」（65.0%）となっており、学習意欲の高さが伺える（次いで多い項目は「単位数を確保する」60.0%）。授業内容は、アクティブ高齢者に対する支援について、講義（3コマ）とPBL（事例検5コマ）を行うものであり、特にPBLは3学科混成によるグループワークとなっている。 授業では、介護保険制度の概要について教授し、他学科の学生も内容を理解できるよう、解説方法や提示資料を工夫した。また、PBLでは5つの班を担当し、事例検討（ディスカッション、合意形成など）が円滑にできるよう側面から支援した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>福祉学科の平均点は83.2であった。各DP項目の達成度について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（かなりそうだと思う50.0%、わりにそうだと思う25.0%）であり、目標をある程度達成できたと言える。「意欲関心」（DP3）については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う55.0%、わりにそうだと思う30.0%）であり、目標を達成できたと言える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う45.0%、わりにそうだと思う25.0%）であり、目標をある程度達成できたと言える。 以上、成績と授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価結果から、本科目の教育目標は全体としてある程度達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

上述の成績および授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価の結果からも、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ

本科目は保健福祉学部（3学科）の学生が各分野の専門性に基づき協働でPBLに取り組むものであり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートの「学習量の評価」では、授業の準備0回（85.0%）と復習（75.0%）が見られた。また、「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」は、「していない」（60.0%）であった。本科目はPBL形式であり、特に学生の主体的学習態度が求められ、この点では課題が残ったと言える。今後、授業開講日の前に、別途、オリエンテーションを実施するなどの対応が必要と思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本科目の教育目標はある程度達成されたが、学生の主体的学習態度の醸成という点では課題が残った。本科目は、保健福祉学部3学科による合同授業であり、本年度の成果と課題を担当者間で十分に共有し、次年度の授業運営に臨みたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ライフイベントとキャリア支援	2	前期	選択	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>例年、受講動機としては「単位数の確保」の割合が高くなっており、本科目の内容に強い関心を持って履修している学生が多いとは言い難い。従って、単位の取得という後ろ向きな動機の学生に、本科目を受講することの意義を理解してもらうことが重要な課題と考え講義内容を準備している。アンケートの総合的な結果や講義時に提出してもらっているコメントの内容から、その課題は概ね達成できたと思われる。</p> <p>なお、当学科の受講者数が少ないため、このリフレクションカードは全学科の結果を総合的に見て作成している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>本科目は、学生に将来のキャリア形成に役立ててもらえるような知識を提供し、早い時期からキャリアについて考えることを促すことを目的としているが、アンケートの「職業選択の参考になった」などの項目で良好な結果となっているため、概ねその目的は達成できていると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの結果から、多くの学生が専攻する分野の専門知識よりも、教養や社会人としての知識を習得できたと感じていることが伺えるが、本科目の趣旨の鑑みれば妥当な結果と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の位置づけを考えた場合に、予習や復習で学生にあまり多くの負担をかけない方がよいと考えて講義を行っていることもあり、自己学習の時間は少なくなっている。学生の意見から、国試対策など専門分野の課題を優先している学生が多いようであるが、それで問題ないと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は、全学科合同で実施しているが、学科によってキャリアのために学生が求めている知識や情報が異なっていると感じている。どの学科の学生にも、履修したことが有意義であったと感じてもらえるように、今後も内容を工夫していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年前期開講、必修、演習科目であるため、</p> <p>①授業計画、達成すべき目標を分かりやすく伝えるよう努めた。</p> <p>②授業の終わりには毎回、各授業の目的を記した用紙にて小レポートを提出させ、学生の意欲、態度、理解度の把握に努めた。</p> <p>③②を踏まえて次の授業での演習方法や目的説明のあり方を調整するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の最終的な成績の平均値は79.8点であった。</p> <p>殆どの者が標準レベルに達した。学生による授業評価においては、全員が「自分なりの目標を達成した」と答えており平均点は4.5、中央値は5.0であった。1年前期の時点でこのような自己評価ができたことは評価できるものと考えられる。また、知識獲得、視点獲得ができたと答える者が大半であり、専門分野との結びつきを意識しながら取り組むことができたようである。また、意欲のみならず「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.7、中央値は5.0であったことから、スキルを獲得したと強く感じられる学生が多くみられたことは、目標達成に繋がったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①本科目は、一年前期開講の卒業必修科目である。大学の教育方針、授業形式、人間関係に慣れ、一年後期からの「専門科目」の演習群に導入していくための重要な位置付けがあると考えられる。

②成績評価からは、目標は概ね達成されており、学生の自己評価では達成できたと評価する学生が多くみられたことから、今後の学生生活、専門科目における講義、演習の履修に大いに役立つ体験が得られたと考えられる。

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価は、平均値は4.4～4.5であった。授業の進め方は適正であり、来年度も引き続き、新入学の学生の状況を個人、集団での理解の様子をみながら、より良い授業展開を図ってきたい。

学習量については、30分以上の予習時間を週に1回以上取った者が20%、30分以上の復習時間を週に1回以上取った者は32%であった。また、自発的学習に取り組んだ者は20%であった。「インターネット検索」「プリントを読んだ」「本などを読んだ」「配布資料を読んだ」といった学習行動であったようである。、昨年度は対面授業とオンライン授業の期間があったため、「インターネットで調べた」といった行動が多かったが、今年度は全て対面授業であったため、自発的学習の割合は減少し、「この講義で友達も増え、考え方や感じ方の違いをみることができました」という自由記述にあるように、入学や引越し等による新たな人間関係の構築の求められる1年前期の時期において、授業で得た知識や技能を日常の実践に生かしていることが想像される。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね達成できたと考えられる。

来年度も引き続き、新入学の学生の状況を個人、集団での理解の様子をみながら、より良い授業展開を図ってきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	山本 佳代子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必修科目である」100%、「資格取得に必要である」42.9%、「関心のある内容である」28.6%であった。本科目は、ヒューマンサービスの専門家として基礎的に必要とされるスキルについて学ぶ科目である。受講動機が「必修科目である」が100%であるため、学生に興味関心を持ってもらうことが必要であり、そのため、オリエンテーションや講義内で、本演習の学びが2年次、3年次にどのように活かされるか具体的な説明や、グループワークの課題に福祉的課題を取り入れ、学生自身が関心を持ち取り組めるよう工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では、10項目中すべての項目において、平均値が4.5点以上であった。特に本科目における学生が到達すべき目標とも関連する、「コミュニケーションや表現力を高めることができた」平均値4.6点、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」平均値4.7点であった。これらのことから、教育目標は達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、社会福祉士受験資格取得のための必須科目であるとともに、ヒューマンサービス専門家に必要な態度（DP4）、技能・表現（DP5）を習得する科目である。学生の目標達成状況、到達度自己評価からDPにおける内容は妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価については、5項目中すべての項目において平均値4.5点以上であった。特に、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」平均値4.9点、「説明は理解しやすいものであった」平均値4.7点であった。今後も学生が、他の学生と交流しながら主体的に学ぶことができる授業を実施していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

授業評価アンケート結果および成績から、教育目標を達成することができたと考えられる。課題への情報収集では、インターネット利用が多く図書館の図書や雑誌、学術データベース等の利用が低い。図書の利用を促すための課題提示が必要なのか検討したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートのうち「受講動機」において、「関心のある科目である」という意見も一定数あるものの、「必修科目である」が多い結果となっている。毎年、このような受講動機となっていることから、説明だけでなく実際に体験できるワークを実施し、学生が関心を持って主体的に学べるよう工夫をした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績が80点以上の学生が多く、おおむねの学生が設定された授業目標を達成できたことが示唆された。</p> <p>授業評価アンケートのうち「到達度自己評価」のすべての項目が4.0点以上となっていた。このことから、客観的評価だけでなく学生自身も授業目標を到達できたと感じられているといえるだろう。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本講義は、対人援助の専門知識や関わりを学んでいく学生が、その前提として対人関係における自己の在り方に気づき理解を深めていくことを目標としている。そのため、1年生前期での開講が妥当であるといえるだろう。また、専門知識の習得よりも、実際のワークを通じ体験的に自己の在り様に気づくことを目的としているため、DPについても「態度」および「技能表現」が適切と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体験型のワークが「楽しかった」などの感想で終わらないように、毎回の講義時間の最後には、そこで得られた気づきが対人援助の場でどのように活かされるか、応用されるかについて解説を行うようにした。

学習量の評価では、授業の予習復習をした回数が0回である学生が多かった。また、図書館利用をした学生もほとんどいなかった。自由記述欄には「することがなかった」「何をすればいいかわからない」との記述があった。本講義は、授業時間中に他者と関わるワークへの参加と、その振り返りを行った。振り返りを授業内に即時的に実施したほうが、ワークでの学習が定着しやすく有効であると判断したためである。また、本講義では知識の習得よりも他者とのかかわり方の姿勢を重要視しているため、授業時間外に授業内容に関する予習復習や、課題に取り組む必要性はなかったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね授業目標を達成できたものと考えられる。

また、授業評価アンケート「必修科目である」という項目の結果からは外発的な動機で履修した学生が多いことが分かったが、成績や授業評価アンケートのそのほかの項目の結果を鑑みると、授業には積極的、主体的に参加できていたものと考えられた。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
福祉入門	1	前期	必修	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は福祉基礎科目に位置づけられている。授業目標は、福祉課題への関心を高めることや専門職への動機づけであり、専任教員(5名)と福祉現場に 従事している外部講師(5名)で担当している。</p> <p>学生の履修動機を見ると、「必修科目である」(97.3%)が最も多く、次いで「資格取得に必要である」(47.3%)、「関心のある内容である」 (35.1%)の順となっている。授業では、学生がこれから4年間の学習や実習に向けて動機を高めることができるよう、福祉課題の実態やそれに対応した制 度・政策の動向、福祉現場における支援の実態などについて教授した。その際は、初學者である学生ができる限り、福祉現場やそこに従事する専門職の現 状がイメージできるよう心掛けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全体の成績は平均81.9点であり、この点で教育目標は達成されたと考える。各DP項目について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う60.8%、わりにそうだと思う28.3%)であり、目標は達成されたとと言える。「思考判断」(DP2)は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う55.4%、わりにそうだと思う28.4%)となっており、目標は達成されたとと言える。「意欲関心」(DP3)は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(かなりそうだと思う63.5%、わりにそうだと思う25.7%)であり、目標は達成されたとと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う46.0%、わりにそうだと思う37.8%)であり、目標は達成されたとと言える。</p> <p>この他、授業の課題以外の課題への取り組みについては「取り組んだ」(44.6%)、インターネットでのホームページの利用については「利用した」(35.1%)などとなっている。学習量や図書館利用においてはやや課題が見られるものの、総じて教育目標は達成されたと考える。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

全体の平均点は81.9であった。また、学生の到達度自己評価の「意欲関心」に関して、本科目の教育目標は達成されていた。以上のことから、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP,カリキュラム上の位置づけ

本科目の主要な教育目標は福祉専門職への動機づけであり、本科目のCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の教育目標は達成されたものの、「学習量」や「図書館利用」の点では課題が残った（予習0回：55.1%、復習0回：47.3%も見られた）。今後も引き続き、学生の主体的な学習態度を引き出せるよう授業運営の改善を行っていききたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本年度同様に、次年度も教育目標を達成できるよう教員間で授業内容・展開方法等について、十分に検討・共有していきたい。また、外部講師においても教育目的を意識した授業を展開して頂くよう周知していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会調査の基礎	4	前期	選択	いいえ	66

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士国家試験の受験科目であるため多くの学生が参加していた。</p> <p>ただし意欲の点からすると苦手な数学のイメージから、及び腰の学生も多く見られた。統計的技法の習得に十分な数学的スキルを備えていない者も多く、「統計の意味を理解する」ことに重点を置いた。数学Iにおけるデータの分析の学習状況は高校によって差が大きいと考えられる。統計の授業のオリエンテーションにおいても、計算が苦手でも必ず社会調査を理解することができるという授業のコンセプトを説明し、学生の動機付けに配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>○2021年度：平均93.2 秀87.5%、優9.4%、良3.1%、可0.0%、不可0.0% 標準偏差4.55。</p> <p>○2022年度：平均97.1 秀92.2%、優6.3%、良3.1%、可1.6%、不可0.0% 標準偏差5.45。</p> <p>○昨年同様非常に満足できる結果であった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

国家試験に対応した科目であり、一定の基礎的な学習の上に展開する4年次科目として、内容的に妥当性があると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

○本年度は、新型コロナウイルス感染症による実習時期の変更等により学生のやむを得ない事由に該当する欠席と補講対応が非常に多かった。また、多くの学生が養護実習に参加しており、前期期間中の異なる3週間で欠席するなど、学習環境にも問題が多かった。補講もオンライン実施が予想された。
○以上の点を踏まえ本年度は
(1) レジュメだけである程度理解できる教材づくり。
(2) オンライン試験向けのブレ問題の作成と解説。
(3) 授業内で学生の疑問や学習課題へ対応する。
といった点を中心に全員合格レベルに到達する授業運営を心掛けた。結果を見ると昨年と同程度の好成績であったが、標準偏差が非常に小さく、学習到達度を弁別するテストであったかといえば不満が残る。ただし、4年前期の国家試験科目であることなども踏まえて基礎基本の徹底というやり方は適切であったと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

○次年度もこの授業だけの達成課題ではなく実習状況や学生の学習状況を踏まえて適切な授業設計を行いたい。
○本年度は前期授業の学習を夏季休暇中の国家試験対策講座へとつなげ、後期もGoogle Classroomの機能を活用しながら学習補助を続けている。そのあたりの効果も踏まえて次年度の改善を行いたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
福祉行財政と福祉計画	3	前期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現行の社会福祉制度を学ぶだけが学習内容と考えず、少子化、高齢化の状況が続く中で財政状況は今後益々悪化していくことが予測されている。将来的に社会保障制度、社会福祉制度を持続させて行くことへの困難さを自覚し、いかに福祉対象者へのサービスが低下することなく維持していくためにはどうあるべきかを認識できるようにすることを講義の主眼とした。</p> <p>受講動機が必須科目であると答えたものが全員に近く、資格取得に必要とした者が5割であったが意欲を見せていると伺える。</p> <p>わずかではあったが学習の準備をしたと答えていたものは国家試験を意識している者だと思われた。</p> <p>自由記述に指導方法について厳しいコメントがあった。確かにわかり辛い講義であったと思うが、社会評論ではなく福祉行財政の重要性を認識してもらえることが重要だと考え講義した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業の準備性については3割程度が準備し学習する者がいた。「インターネットのホームページを検索し、利用した」と答えた者が半数程度おり自主的に学習したものと考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

必須科目であるため出席率は高かったが、試験での答案内容は教科書の文言が多く自分の意見、考えを述べる者が少なかったことは残念であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

福祉行政から社会の動きを講義したが話が中心となり学生の望むものではなかったと思われた。今後、質問を受けることやレポートを課し学生の理解を確認することが望まれると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

この科目はすべての領域において重要なものだと考えて講義をしたが認識してくれる者が僅かであったことは反省し次年度以降改善していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
福祉経営論	4	前期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の応用と深化」をねらいとした福祉専門科目である。受講動機を見てみると、「必修科目である」が58.5%、「資格取得に必要である」が73.2%、「関心のある内容である」が9.8%となっており、多くの学生が資格取得のための履修である。福祉経営という学生にとってはイメージしづらい領域であるため、新聞記事で時事的な問題を提示したり、実習での体験と結びつけられるような話題を提示したりして、できるだけ学生が身近な内容としてとらえられるよう工夫した。また4年次の科目で国家試験を間近に控えているため、過去問を適宜提示し、授業内容と国家試験問題の内容が結びつくようにした。また毎回のコメント提出の課題により学生の質問や意見等を求め、次回の講義の冒頭で質問等に答えるなどのフィードバックを行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均点は74.9点、中央値は78.5点、再試対象者は14名であった。評価割合はA評価29.7%、B評価17.2%、C評価20.3%、D評価7.8%、E評価25.0%となっており、A評価が3割を占めていたが、E評価が2割を超えており、成績の開きが大きく、課題が残った。成績下位の学生に応じた教授方法、試験方法を次年度は考えていきたい。</p> <p>学生の自己評価の「自分なりの目標を達成した」の項目は平均値3.7、中央値4.0であり、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。このことから、目標は「やや達成された」と判断した。DP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考えを得ることができた」の平均値は4.1-4.2、中央値は4.0であり、目標は「達成された」と判断した。またDP2に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値4.0、中央値4.0であり、目標は「達成された」と判断した。DP3に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値4.0、中央値4.0であり、目標は「達成された」と判断した。ただし、DP3に関して「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>4. で記したとおり、学生の成績、自己評価からは内容的には概ね妥当であったと考えられるが、本科目は社会福祉士の国家試験科目であるため、特に成績下位の学生に向けて理解を高められるようなわかりやすい講義内容に改善していく必要がある。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>上記にも記したとおり、学生の理解をさらに高めていくような取り組みが必要である。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は、各項目の平均値が3.8-4.2点であった。「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」の項目において「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名ずついた。評価基準等は初回のオリエンテーション時にシラバスを用いて説明したり、定期試験前に再度提示しているが、全ての学生に周知できるよう、より丁寧な説明を行っていききたい。また「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目が平均値3.8と低く、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が3名いた。講義系科目で教授内容が多い科目であるため難しい面はあるが、できるだけ学生が主体的に参加できるようアクティブラーニング等を取り入れる工夫を行っていききたい。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の項目に関しても、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。質問の機会に関しては、毎回のコメント提出の課題を設けており、学生の自由記述の中にも「質問に対する回答が丁寧」との意見もあったが、学生により周知できるようにしていきたい。</p> <p>学習量の評価の学生の自由記述では、「国家試験の勉強」「国試問題復習」などの記述が多く、講義内容が国家試験の勉強につながっていたことから、今後も講義内で意識づけを行っていききたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の応用と深化」をねらいとした福祉専門科目である。福祉経営という学生にとってはイメージしづらい領域であるが、特に成績下位の学生に向けて、わかりやすい講義内容に改善し、理解を促していききたい。さらに学生の理解をうながしていくため、できるだけ学生が身近な話題としてとらえられるような工夫や、事例等を用いたアクティブラーニング等を取り入れ、分かりやすくする工夫に努めていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
公的扶助論	3	前期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は31名、回答率は42.5%であった。受講動機を見ると、「資格取得に必要である」67.7%、「必修科目である」64.5%であった。社会福祉士・精神保健福祉士指定科目（本学の必修科目ではない）であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置くとともに、生活保護の被保護者に対して、ネットではびこっている偏見を決して鵜呑みにすることのないよう、生活保護制度の理念・原理・原則や制度の正確な内容、および被保護世帯の実態を正確に伝えることに重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>今年度は、授業中の確認テスト・コメントに加えて、3年ぶりに行った前期試験も用いて成績評価を行った。素点の平均点は76.47点（福祉養護教諭コース77.07点、子ども家庭福祉コース73.42点）であった。理想的レベル（90点以上）に達した者は15名、不可と評価した者は6名（ほか、出席数不足2名）であった。成績評価の方式が異なるので単純に比較はできないが、昨年度の平均点(75.66点)をやや上回っており、定期試験のみで成績評価した2019年度の平均点(74.72点)よりも上回っている。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.1、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値がいずれも4.0であり、「コミュニケーション能力や表現力と高めることができた」を除く項目の平均値はいずれも3.9～3.8であった。全体的に昨年度より0.1ほど上昇している。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは比較的高い。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であるとする。②DP行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であるとする。よって、内容的妥当性には問題ないとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.3、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は4.2、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」、「説明は理解しやすいものであった」の平均値はいずれも4.1であり、昨年度とほぼ同水準を維持している。他方、「1回30分程度以上の準備」を行っていない学生は17名、「1回30分程度以上の復習」を行っていない学生は14名、授業以外の課題に取り組んでいない学生は13名で、学習をしていない割合は昨年度よりやや減少している。授業の課題以外に学習していない理由として「講義内容が十分であったため」、「確認テストで講義内容の復習をしていたから」、「他の科目の課題があったため」、「時間が取れなかった」という意見が見られた一方で、授業の課題以外に具体的に具体的に組み込んだ学習に「復習」、「授業中わからなかったことを調べた」、「気になったことをインターネットで調べた」などの回答があった。学生からの意見についても、「説明がわかりやすく、難しい内容も理解することができました」との意見があった一方、「レジュメの文字と太さを大きくしてほしい」、「レジュメはどこが大事なのか一眼でわかるようなものだありがたいです」との意見も見られた。これについては、本年度後期の講義では、レジュメの字体をMS明朝体からUDデジタル教科書体に変更して配布している。また、以前より重要な部分は空欄にしていたり、スライドと照らし合わせれば重要な部分がわかるように授業を行っているが、今後できる限り改善に努めたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特になく考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
就労支援サービス論	4	前期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の展開」をねらいとした福祉専門科目である。受講動機を見てみると、「資格取得に必要な」が79.3%、「関心のある内容である」が37.9%、「単位数を確保する」が27.6%となっており、資格取得のための履修であることがうかがえるが、例年と比較して「関心のある内容である」との回答が高かった。前述のとおり本科目は社会福祉士指定科目であるため、授業はできるだけ養成テキストに沿う内容で進めると同時に、新聞記事で時事的な問題を提示したり、DVDなどの視聴覚教材を多く使い、就労支援の実際をイメージできるよう努めた。また今年度は前年度よりも事例演習を増やし、就労支援における課題解決の方法を学生が身に付けられるよう努めた。そして4年次科目であるため、国家試験も意識化できるよう、過去問を適宜提示し、授業内容と国家試験問題の内容が結びつくようにした。また毎回のコメント提出の課題により学生の質問や意見等を求め、今回の講義の冒頭で質問等に答えるなどのフィードバックを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は77.5点、中央値は82点であり、再試対象者は7名であった。評価割合はA評価38.5%、B評価17.9%、C評価7.7%、D評価12.8%、E評価23.1%となっており、A評価が4割を占めているものの、E評価の学生も2割を超えており、成績の開きが大きく、課題が残った。成績下位の学生に応じた教授方法、試験方法を次年度は考えていきたい。</p> <p>学生の「自分なりの目標を達成した」の自己評価では、平均値3.7、中央値4.0であり、「やや達成された」と評価した。DP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考えを得ることができた」の平均値は3.9-4.0、中央値4.0であり、DP2に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値は3.8、中央値4.0であった。DP3に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均値は3.9、中央値4.0であった。これらの点から目標は「やや達成された」と判断した。DP1、DP3の項目に関して「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名、DP2の項目に関して「少しそうでないと思う」と回答した学生が2名いた。次年度はさらに事例演習などのアクティブラーニングを取り入れ、学生の課題を検討する力や判断する力を伸ばせるよう努めたい。</p>
---	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

4. で記したとおり、学生の成績、自己評価からは内容的には概ね妥当であったと考えられるが、本科目は社会福祉士の国家試験科目であるため、特に成績下位の学生に向けて理解を高められるようなわかりやすい講義内容に改善していく必要がある。さらに事例等を用いた学習など、アクティブラーニングを取り入れ、社会福祉実践の展開を学べるように改善していきたい。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性

上記にも記したとおり、概ね内容は妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、各項目の平均値3.9-4.2、中央値4.0であった。「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の項目が平均値3.9であり、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名ずついた。学生の参加の機会については、4. に記したように、講義内容にアクティブラーニングを取り入れていく工夫を行ってほしい。また質問の機会に関しては、毎回のコメント提出の課題で設けており、学生の自由記述の中にも「質問に対する返答が丁寧」との意見もあったが、より周知できるように努めていきたい。学生の自由記述を見ると、「スクリーンが見づらかった」との意見があった。スライドに関しても学生に確認をとりながら作成していきたい。

学習量の評価の学生の自由記述では、「国家試験のための勉強」「過去問の復習」などの記述が多く、講義内容が国家試験の勉強につながっていたことから、今後も講義内で意識づけを行ってほしい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の展開」をねらいとした福祉専門科目である。制度論が中心の科目ではあるが、就労支援の実際をできるだけイメージできるように工夫し、アクティブラーニング等を取り入れ、課題解決の方法を教授できるようにしていきたい。また特に成績下位の学生に向けて、わかりやすい講義内容に改善し、学生の理解を促していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
司法福祉論	4	前期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は11名、回答率は44.0%であった。受講動機を見ると、「資格取得に必要である」90.9%、「単位数を確保する」27.3%であった。4年生対象の科目であり、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験を受験する予定の学生が多いことから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、主な支援の対象者である保護観察対象者も社会の一員であり、先入観や偏見を抱かせないことに重点を置いた。なお、昨年度から2024年度より変更される社会福祉士・精神保健福祉士指定科目「刑事司法と福祉」の内容に準拠する講義内容に改めている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は、授業中の確認テスト・コメントのほか、3年ぶりに実施した定期試験で成績評価を行った。素点の平均点は75.80点、理想的レベル（90点以上）に達した者は5名、再試対象者は5名であった。評価方式が異なるので単純に比較はできないが、昨年度(76.73点)なみの平均点であり、また、定期試験のみで成績評価した2019年度の平均点(73.12点)よりは高い。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.2、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.0、「自分なりの目標を達成した」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」、「職業選択の参考になった」の平均値がいずれも3.9であった。他の項目の平均値も「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」を除く項目で3.5-3.8の範囲内にあった。全体的に昨年度より平均値が0.1ほど上昇している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP,カリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生がほとんどであり、学生の講義に対する動機付けは非常に高い。履修者の過半数が理想的レベルであることから、内容的には妥当であると考え。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考え。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値はともに4.3、「説明は理解しやすいものであった」の平均値が4.1「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は3.8で、昨年度と同様の数値を示している。他方、「1回30程度以上の準備」を行っていない学生は7名、「1回30分程度以上の復習」を行っていない学生は5名、授業以外の課題に取り組んでいない学生は5名であり、約半数の学生が授業以外での学習を行っていない現状がある。授業の課題以外に学習していない理由として、「授業で十分だった」、「レジュメと教科書の振り返りを行ったため」などの意見が見られた。また、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として「確認テストの復習」、「わからないところを調べた」、「国家試験の勉強」などの回答があった。学生からの意見について、「説明がとても分かりやすく、興味のある内容ばかりで、とても面白く授業を受けることができました」、「分かりやすく噛み砕いて説明してくださったので、興味を持って楽しく授業を受けることができました。また、質問した際も丁寧に教えて下さり、とても嬉しかったです」など、満足度の高いコメントが見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

福祉専門科目であり、かつ社会福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもについてはある程度達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特にないと考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（3年次対象・選択）の1つであり、相談援助演習Ⅲ（2年次後期）及び相談援助演習Ⅴ（3年次後期）と連動し、教員4名のオムニバス形式で展開している。主な内容は、各教員の専門領域（障害福祉、高齢福祉、児童福祉、医療福祉、学校福祉）における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「資格取得に必要である」（76.0%）が最も多く、次いで「必修科目である」（64.0%）となっている。一方、「関心のある内容である」は8.0%となっており、学生の関心・意欲等を高める授業内容・展開を工夫する必要があると考える。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された	達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>各DP項目の達成度について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（かなりそうだと思う60.0%、わりにそうだと思う24.0%）であり、目標は達成されたと言える。「思考判断」(DP2)は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（かなりそうだと思う44.0%、わりにそうだと思う36.0%）となり、これも目標は達成されたと言える。「意欲関心」(DP3)は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う48.0%、わりにそうだと思う28.0%）であり、目標はやや達成されたと考える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う48.0%、わりにそうだと思う36.0%）であり、目標を達成したと言える。「技能表現」(DP5)は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」（かなりそうだと思う44.0%、わりにそうだと思う32.0%）、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」（かなりそうだと思う44.0%、わりにそうだと思う24.0%）であり、目標はやや達成されたと考えられる。</p> <p>以上のことから、教育目標はやや達成したと考える。しかし、学習量の評価（予習0回48.0%、復習0回36.0%）や図書館の利用状況（図書・雑誌や学術データベースを利用した0%、インターネットの検索をした32.0%）からは、学生の主体的学習態度の涵養という点で課題が残ったと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
学生の到達度自己評価による教育目標の評価結果（「やや達成した」）から、DP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP,カリキュラム上の位置づけ
本科目は相談援助の専門的視点、態度、知識、技術を実践的に修得するものである。これらの学びは相談援助実習（3年次）の展開において不可欠であり、本科目のCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教育目標はやや達成されたと評価できる一方で、学生の学習量の確保や主体的学習態度の涵養という点では課題が残った。既述の通り、本科目は相談援助演習Ⅲ・Ⅴと連動しながら各専門領域の援助実践を学ぶ科目である。今後は明らかとなった課題について担当教員と共有し、改善策を検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本年度、科目の教育目標は達成された。今後も引き続き担当教員間の連携を図り、授業内容・展開方法の質の向上を目指したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ソーシャルワーカーが対面する人々を選ぶものではない。どのような人であっても対応し、受容し、寄り添い、その人の抱える問題に対応し解決調整していくことを求められる。よって、演習では医療現場での事例を読み解き、事例の行間に隠れているワーカー・クライアント間における思いを理解でき感受性をもって相談援助の実際を考えることに心がけた。7回を担当し困難事例を読み解き、価値観や偏見により援助に漏れの無いよう相談援助ができるようになることを目標においた。到達度度自己評価が4.0以上と高かったことに繋がったものと判断する。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	「自分が学ぼうとしている専門分野」に対する理解が出来たことへの評価が3.5以上であり成果はあったと評価する。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

図書館利用でインターネットで7割以上の学生がホームページを検索し調べ学習を主体的に行っていることがわかった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

演習であるため学生の数は少数であるが、学習量の評価において事前準備、事後の学習をしていることがわかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

事例を検討することに不慣れでこちらから解説してしまうことになってしまった。その場で質問を受けたが感想に近いものであった。学生との主体性をより多く引き出すように取り組んでいく。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみると、「必修科目である」が68.4%、「資格取得に必要である」が78.9%、「関心のある内容である」が21.1%、「単位数を確保する」が21.1%であった。本演習は相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴと連続しており、学生はすでに相談援助演習Ⅲを履修している。また本演習は「相談援助実習」と同時進行で行われるため、学習準備性は一定程度あると考えられる。本科目では、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を通し、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。</p> <p>演習ではできるだけ多くの事例を用い、「相談援助実習」で用いられる社会福祉の視点や職業倫理、援助技術を習得できるよう内容となるよう工夫した。また相談援助の実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを通して課題解決を導く演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は81.5点、中央値は81点であり、標準的な成績であった。学生の到達度自己評価では、「自分なりの目標を達成した」の平均値3.8、中央値4.0であった。ただし「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名おり、目標は「やや達成された」と評価した。DP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値3.9-4.0、中央値4.0であり、目標は「やや達成された」と判断した。DP2に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値3.9-4.1、中央値4.0であり、目標は「やや達成された」と判断した。DP3に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値3.8、中央値4.0であり、目標は「やや達成された」と判断した。DP4にかかわる「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値3.8、中央値4.0であり、目標は「やや達成された」と判断した。DP5にかかわる「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値3.8、中央値4.0であり、目標は「やや達成された」と判断した。全ての項目において、「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」と回答した学生が1-2名おり、教授内容について課題が残った。</p>
--	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本演習は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4. に記したように、専門的知識の習得、課題解決能力、判断力、学びへの意欲、コミュニケーション力に関する学生の達成度の自己評価から、次年度以降、教授内容について再考していく必要があると判断した。新カリキュラムへの移行に合わせて、全ての学生が各項目の目標を達成できたと実感できるような内容に改善していきたい。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>上記同様、教授内容について次年度以降、改善していく必要がある。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では、各項目の平均値3.9-4.1、中央値4.0-5.0であった。「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」の項目に「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名ずついた。評価基準等については、初回のオリエンテーション時に説明しているが、全員に周知することができるようにさらに丁寧にわかりやすい説明を心がけていきたい。また「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目に「全くそうでないと思う」と回答した学生が2名いた。グループワーク中心の演習を進めたが、全員が参加することができるように、学生によるグループワークの運営についても注視していきたい。さらに「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の項目に「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名ずついた。毎回の演習終了後のコメントの提出において質問等を受け付け、次週にフィードバックを行っていたが、さらに学生への周知に努めていきたい。</p> <p>学習量の評価に関する自由記述をみると、「実習にいかしたいため、理解不足の内容を改めて再確認した」等の回答があったため、次年度以降も演習を通して学生が実践現場をできるだけ意識できるように努め、学生の自己学習を促していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度の自己評価、および6. 授業の質評価から、次年度以降、新カリキュラムへの移行に合わせて、全ての学生が各項目の目標を達成できたと実感できるような教授内容に改善していくとともに、全ての学生にわかりやすい説明に努め、授業の質の改善を図っていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、これまでの相談援助系の科目を通して学んだことを踏まえて、1いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、2課題を抱えた人々(当事者)の状況、3社会福祉士による具体的な支援内容、4社会福祉士に求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めることを本授業の目的とした。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。なお本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、対面による授業を展開した。</p> <p>① グループワーク等を中心に、基礎的な視点に基づき、本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。</p> <p>② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。</p> <p>③ 講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。</p> <p>④ 本講義の特性上、福祉的な問題の理解や実際のコミュニケーション技術の方法等の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、中央値4.0に対して、全体的に中央値の水準であった。(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」が共に平均値4.2が最も高かった。その一方で、(3)「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」と(8)「コミュニケーションや表現力を高めることができた」は平均値3.9であった。3「授業の質評価」は中央値のほぼ水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、相談援助に携わる上で、①いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、②課題を抱えた人々(当事者)の状況、③社会福祉士による具体的な支援内容、④社会福祉士に求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めた。今後も現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤に基本的なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の基礎を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、社会福祉の基礎的な知識や技術を学ぶ科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、社会福祉士がどのような倫理と価値をもち、実践するのか等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。4年次の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、2022年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。自己目標・職業選択に関する達成度が比較的低く、方法的妥当性の問題である。しかし、3年生の段階では自分自身の将来の選択肢について、その専門性を高め、自己内省を深め自己決定をしていくものであるため、本科目を学んでの今後の学生の成長を注察したい。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、(3)「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」と(8)「コミュニケーションや表現力を高めることができた」の平均値3.9と全体数値よりも低かった。本年度は、地域社会における福祉的問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、グループディスカッションが十分にできなかったことが考えられる。科目の性質上、社会福祉における知識・技術、価値、専門性をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面において社会福祉士が社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。学生の意見として、授業での学びを深めるために、課題を提示し、その学びを整理するとともに、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」での、社会福祉実践の展開を学ぶ位置づけであることから、相談援助における基礎的知識の形成と事例を通してみた福祉専門職としての実践の在り方については概ね達成できたが、地域や多様な生活場面に応じた実践をする上での相談援助技術の面で課題を残した。この点は、3年次の相談援助演習Vにおいて社会福祉士が対応する地域での実践事例の検討や演習活動を取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	3	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機をみると「資格取得に必要である」が81.8%と最も多く、次いで「必修科目である」は45.5%、「関心のある内容である」は36.4%の順であり、受講生の多くが資格取得を目的とした履修であることがうかがえる。本科目が精神保健福祉士国家試験受験資格に関する科目であることから、授業では、国家試験の出題傾向を踏まえつつ、できるだけ養成テキストに沿った内容で進めるとともに、必要に応じて実践事例を紹介することで、授業内容の実践的理解が深まるよう努めた。また、リアクションペーパーを活用し学生の理解度を把握したうえで、質問については、次回の授業時に答えたり、補足資料を配布したりするなどして、フィードバックを行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、定期試験、レポート、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均83.4点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.1点（かなりそうだと思う27.3%、わりにそうだと思う54.5%、まあまあそうだと思う18.2%）であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「(2) 知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.2点、「(3) 事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.1点であり、目標は達成されたといえる。「思考判断」は、「(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.1点、「(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値が4.1点であることから、目標は達成できたと考える。また、「意欲関心」についても、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.1点であるため、目標は達成できたと見えよう。「態度」については、「(9) 職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値が3.6点であり、目標はやや達成されたと考える。「技能表現」については、「(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.1点、「(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が3.9点であることから、目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「精神保健福祉関係科目」において精神保健福祉実践の展開を学ぶ位置付けである。授業準備の欄にも示した通り、学生の受講動機は約82%の学生が資格取得を目的としたものであったが、受講態度や課題等への取り組み状況から、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域への高い興味や関心が感じられた。また、学生の自己評価や成績評価から一定程度の成果が得られたことから、内容的妥当性に問題は無いと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、「(3)説明は理解しやすいものであった」の平均値が4.4点であり、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかった。また、学生からも「授業資料で要領を得た」、「資料も説明も分かりやすくとても勉強になりました」等のコメントが見られた。今後も学生にとって「見やすい」「わかりやすい」資料の作成を心がけ、授業の理解度を高める工夫を行っていききたいと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「精神保健福祉関係科目」において精神保健福祉実践の展開を学ぶ位置づけから、教育目標の知識理解、思考判断、意欲関心については達成できたと考えるが、態度、表現技能では課題を残す結果となった。この点については、後期に「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ」が設定されているため、授業内容や展開方法等の改善に取り組み、学生の到達度の向上を目指していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習 II	3~4	3期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が一番多く、続いて「資格取得に必要なものである」であり、「関心のある内容である」が低く、受講動機は低い科目である。精神保健福祉士を目指すうえで必要な知識を得て人に伝えるといったプレゼンの場や、意見を交換しながら理解を深めるといった交互交流を主とした演習の場を設定した。併せて、事例検討により理解を深めた事例を基に実践場面を想定したロールプレイ、小グループでの気づきを共有する場を通して人に伝える視野を広げる工夫を通して、関心が高まるよう促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」「専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目で、すべての項目において平均値以上である。学習量については、発表のための調べる時間が負担になったという意見もあるが、専門職として必要な知識を調べ誰かに伝えるというスキルを高めるためにも必要であると考え、今後も継続したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ上の位置づけから見て、本科目は精神保健福祉士を目指すうえでの「必須科目」であり、相談援助の基本となる技術を身につけるための科目で内容は妥当であると考えます。グループワークを中心としているが、安心して積極的に発言出来る環境や雰囲気になるよう促したい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について全体的に平均値を上回っている。学生さんが進路選択などに参考となるような、具体的対策や提示が出来るよう、伝え方など工夫をしながら、今後も学生が自主的に自学に取り組むことが出来るよう促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士としての基本的な知識と技術の習得に向け、必要な情報を調べてまとめる、誰かに伝える、テーマについて考えディスカッションする時間を多く設けた事から、学生の精神保健福祉相談援助に対する理解や関心が高まったと考える。しかし、さらに具体的場面を想定した演習などを取り入れ、実践力の向上に努めていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
発達心理学Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機によると、本授業は、「関心のある内容である」とした学生が75.0%で最も多く、次に「単位数を確保する」58.3%であった。「資格取得に必要な」、「友人が履修している」とした学生が16.7%であった。</p> <p>本講義は、2年前期開講科目である。学生は1年前期に「心理学と心理的支援Ⅰ」において心理学全体における発達心理学の位置づけについて学び、1年後期に「発達心理学Ⅰ」において胎児期から児童期までの発達心理学を学んでいる。以上のことを踏まえて、本講義「発達心理学Ⅱ」では、青年期から老年期までの発達心理学の講義を行った。また、心理学系科目は選択科目であることから、一部学生は「心理学概論Ⅰ」「発達心理学Ⅰ」を受講していない場合もあるため、それらの授業でも出てきた主要な理論についても言及しながら解説するよう努めた。</p> <p>青年期以降の発達であるため、専門職として必要な学びと共に、学生自身が社会とのつながりや身近な人との関係、自分の将来について考える機会を提供できるよう授業計画を立てた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>平均点は92.8点であり、90点以上の者が75.0%、80点～89点の者が16.7%、70点～79点の者が8.3%であった。すべての学生が標準レベルの学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.2点であった。「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」と「学びを深めたいと意欲を持つことができた」は3.9点であった。それ以外の項目についても、3.5～3.8の平均点であった。「自分なりの目標を達成した」の平均値は3.7であり、概ね学生も目標を達成した実感を持ったと考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本授業は、1年後期の発達心理学Ⅰの後に続くものとして、2年前期に設けられている。

発達心理学Ⅱは「青年期、成人期、老年期」の発達心理学を学ぶものであり、人間理解の科目として、実習前に設置されていることは妥当であると考えられる。

学生も概ね苦勞なく取り組めており、授業内容としても2年次前期にふさわしい内容になっていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

テキストに沿って進めたが、不足する情報は適宜プリントして配布した。説明には、パワーポイントを用いて、視覚的に整理され分かりやすく伝わるように工夫をしている。授業の質評価では、平均値が3.8~4.6であり、概ね評価されていると考えられる。

毎授業後に小レポートの提出を求めたが、殆どの学生が授業内容を自分自身の経験や身の回りの他者から得た情報、これまでの知識等の具体的事象と適切に結び付けて考察することができており、これは関心意欲を表現するだけでなく、授業内容の復習にもつながったのではないかと考えられる。

「インターネット等で調べた」「授業内容を復習しました」「ノートを作ってまとめた」など42.6%の学生は自発的学習に取り組むことができていた。課題以外に取り組んでいない学生も「授業内で解決したから」「授業内で理解ができたから」と答えており、各学生で授業の中身をまず第一に、さらに自分の学習度に合わせた取り組みができていたと考えられる。授業の記録について「主に配布資料に記録した」が100%であった。配布資料が学生に有効に利用されていると考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね達成できた。

全ての学生が単位修得することができた。関心の高い学生の受講により、高い成果を上げることができた。

来年度も引き続き受講生の特徴を踏まえながら、授業内容の向上できるよう工夫をしていく。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
カウンセリング論	2	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機によると、本授業は、「関心のある内容である」「単位数を確保する」とした学生がともに55.6%、「必修科目である」22.2%、「資格取得に必要である」「友人が履修している」とした学生が11.1%であった。</p> <p>本講義は、2年前期開講科目である。学生は1年の間に「心理学と心理的支援Ⅰ・Ⅱ」において心理学の基礎知識について学び、1年後期に「臨床心理学概論」において臨床心理学の基礎知識を学んでいる。臨床心理学では理論と実践が絶えず影響を及ぼし合うことを重視する。本講義「カウンセリング論」では、臨床心理面接の基礎となるカウンセリング理論についての講義を行った。</p> <p>子ども家庭福祉コースにて保育士資格を取得する学生にとっては、選択必修科目となっている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>平均点は88.9点であり、90点以上の者が50.0%、80点～89点の者が45.5%、70点～79点の者が4.5%であった。すべての学生が標準レベルの学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価では、「自分なりの目標を達成した」の平均値は4.1であった。概ね学生も目標を達成した実感を持ったと考えられる。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.1で、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「さまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値は4.0であった。それ以外も3.4以上の平均値であった。</p> <p>「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」について「全くそうでないと思う」と答えた学生がいたが、本科目は講義であり、まずは基本的な考え方を理解してもらうこと（講義）に比重をおいていたが、実技の機会（演習）がないために理解が深まっていないことが考えられる。この点については、4年次の「カウンセリング演習」を受講して学びを深めることを期待する。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、 「学習到達度の自己評価」、 「学習量の評価」、 「学修のための情報利用」、 「図書館、インターネット利用」、 自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本授業は、1年後期の臨床心理学概論の後に続くものとして、2年前期に設けられている。

カウンセリング論は臨床心理学の一分野であり、対人援助理論の科目として、実習前に設置されていることは妥当であると考えられる。

学生も概ね苦勞なく取り組めており、授業内容としても2年次前期にふさわしい内容になっていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

レジュメを作成し、資料等も適宜プリントして配布した。

授業の質の評価としては、平均値は3.8~4.4であった。「説明は理解しやすいものであった」の平均値は3.9点であり、「質問を受付、答える機会が作られていた」が3.9点、「学生が参加する機会が作られていた」が3.8点と、授業中に抱いた課題を解決しやすい雰囲気を作ることができていたことが、授業外での学習をしなかった理由として挙げられる。学生の自由記述にも「解決したから」「授業内容で十分だと感じたから」「授業内で理解できたから」「課題で十分だと思ったから」など述べられており、授業での教員の説明に満足のいく学びを得ることができたことがうかがえる。

まずは基本的な概念を学ぶことが重要であるため、本年度の授業のあり方、学生の学びとしては望ましい結果であったと考える。受講生が、この学びを実習や就職後の対人援助職者としての活躍に結び付けていくことを期待する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね達成できた。

全ての学生が単位修得することができた。

来年度も引き続き受講生の特徴を踏まえながら、授業内容の向上とともに、質疑応答がしやすい授業環境を提供できるよう工夫をしていく。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
健康臨床心理学	4	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機について「単位数を確保する」という回答も多かった（4名/7名中）が、「関心のある内容である」（6名/7名中）と回答した受講生も多く、内発的な動機から受講していることが分かった。また、4年生という学年も考慮し、学生自身が関心をもっているテーマや経験した実習領域、就職のイメージなどを聞き、それらをもとに講義内容を修正した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績は平均90点（±7点）であり、ほぼ全員の学生が授業目標を達成したといえる。</p> <p>授業評価アンケートでは「自分なりの目標を達成した」について、平均値が3.9点となっていた。そのほかの項目が平均値4点台が多いことから、ほかの項目に比べてやや低い傾向ではあるものの、学生自身も概ね目標を達成した感覚をもっていることが考えられた。</p> <p>授業内容が基礎的な理論が多かったことから、来年度以降はその理論をもとにした事例検討をもう少し授業内容に取り入れることで、4年生にとって「目標を達成した」感じが促されるかもしれない。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

臨床心理学の中でも発展的な内容を扱う授業であり、4年生での開講が妥当と考えられる。

受講にあたっては、心身相関に基づく新たな専門的知識の獲得が必要であり（DP1）、また専門的知識の獲得にとどまらずに対象者の適切な理解や支援へとつなげる姿勢が求められる（DP2）。さらに、受講生は講義で得た知識をもとに自身の日常やこれまでの援助の在り方を振り返り今後活かそうとする姿勢（DP3）が求められる。以上のことから、本講義で設定されているDPは適切であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体験型のワークを実施したり、ワークを通じた学生なりの考えや感想を述べる課題を多く設け、またそれに対し教員がコメントをするなど双方向的なやり取りをこころがけた。

4年生という学年を考慮すると、理論やワークだけでなく来年度以降は事例検討の時間などを多く取り入れたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業目標は概ね達成したと考えられ、授業内容や授業の進度などは適切であったと考える。卒業や資格取得に必須の科目ではないため、来年度以降も受講者数が少ないことが予測される。そのため、講義内容のイメージが持てるようアナウンスを行ったり、講義実施にあたっては、就職時のイメージがわきやすくなるよう事例検討の時間などを取り入れていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡部 明仁

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
解剖学	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教科書の図を順序通りに説明を行うことにより、学生がメモを取る時間を極力軽減し、説明を聞く時間を多くとり講義時間内に理解してもらえるように取り組んだ。説明文は、教科書と同じ文章を用い、教科書に印をつけるだけでキーワードを含んだ文章を探し出せるよう講義スライドに記入した。</p> <p>②講義資料は、講義開始前に紙媒体で配布し、最終的に「Google classroom」に全てアップロードし、いつでもどこでも復習できるようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①今年度の結果</p> <p>本試験の合格者は44名、再試が2名、追試が1名で全員合格であった。本試験の平均点は73.5±7.97点であり、標準的なレベル（概ね70点以上）に到達していると考えられる。取り組み方が足りない学生がわずかにいた。次年度は、講義資料を前もって配布し、進みそうな範囲を前もって予習してきてもらうことのみならず、復習してもらえるよう工夫を凝らすことなどを考えている。</p> <p>②学生による授業評価においては、「到達度自己評価」及び「授業の質」において、「まあまあそうだと思う」以上の肯定的な評価が90%以上である項目が多いが、「コミュニケーションや表現力」、「職業倫理や行動規範」、「学生が参加する機会」などについては、「少しそうでないと思う」以下が多い項目で50%程度であった。専門基礎科目であることから、知識の習得に重きを置きがちではあるが、このような機会を講義の中で作っていくことを次年度の課題とする。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性
本科目は「専門教育科目、保健・医療関係科目」であり、選択科目であるが養護教諭一種免許取得には必要である。教員採用試験にも一定の割合で出題されており、専門的な医学系科目を学ぶための基礎知識を学習するものである。養護教諭の業務内容と直接的な関連性が分かりづらい分野も含む科目ではあるが、学生も一定の成績を収めていることから、内容は妥当であったと考えられる。

②DP、行動目標から見ての内容の妥当性
成績評価と学習到達度についての学生の自己評価からみて、目標を標準的なレベルでほぼ達成できたと考えられる。

③まとめ
以上から、内容的妥当性は問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が2.1と最も低かった。これは、身近な生理現象や、病気などを例に挙げて問題提起をするよう心掛けてはいたが、知識の伝達が主である授業のため、学生同士で議論し、まとめ、発表するという時間をとることができなかったことを意味すると考えている。予習・復習や自発学習を行っていない割合が多いのも反省点である。次年度に向けて、配布資料を前もって配ることにより、予習を促し、途中で小テストを入れるなどして、復習する動機づけを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門教育科目、保健・医療関係科目にあたる本科目の位置づけから、知識理解度及び技能表現についてほとんどの学生が積極的に取り組んだものと判断できることから、概ね目標を達成できたと考える。講義時間中の質疑応答は、比較的自由に行えるようにしていたが、講義内容や講義時間中の質問はほとんどなかった。加えて、事例について学生同士でじっくり時間を取って検討し、発表する時間がなかった。今後、毎回の講義のねらいを具体的に示し、グループごとに討論する時間を設けたり、その内容を発表してもらうなど、学生がもっと参加する意欲が持てるよう努力していきたい。
配布物や講義の進行については、学生の意見を積極的に取り入れ、来年度に向けて改善を行いたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域保健学Ⅱ	4	前期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習（病院実習）、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」94.4%、「必須科目である」39.3%、「関心がある科目である」11.1%であった。授業では、地域保健学Ⅰで学んだ知識を基礎に、できるだけ具体例を示し、グループワーク、ロールプレイ等を取り入れ、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②地域保健学Ⅰで学んだ知識を基礎に、知識を表現するためにグループワークを取り入れ、学んだことを発表し、知識の定着を行った。また、養護実習との関連から、健康相談についてグループで演習を行い、教育の現場での実践化につなげる教材の工夫を行った。さらに、学校の現場で起こりうる事例をもとに事例検討会のシミュレーションを取り入れ演習を行った。また、後期の授業科目「教職実践演習」と関連付け、多職種との連携について事例を用いて演習を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は78.0点(±9.8)であった。理想的レベル(90点以上)2名、(80点以上)は14名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識・理解に関しては、78.0%、思考・判断90.0%、関心・意欲90.0%であった。授業で基礎的な知識の定着を図りつつ、グループワーク等を通して応用力の定着を図るよう授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては、知識・理解の観点平均値4.4(中央値4.0)、思考・判断の観点平均値4.3(中央値4.0)であり、到達度自己評価にはあまり差はないことが示された。関心・意欲は平均値4.4(中央値4.0)であった。</p> <p>学生が知識理解の観点において、基礎的な知識はある程度定着していると考えられる。さらに応用問題が出された場合に、基礎知識を活用し応用問題に対応できるように授業構造を改善していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性</p> <p>本科目は、「保健・医療関係科目」である。また、養護教諭一種免許状を取得するための「養護実習」の履修要件科目である。受講動機から見ても多くの学生が「資格取得に必要であるため」と94.4%が答えている。また、到達度自己評価では「知識を修正したり、新たに得ることができた」平均値4.4(中央値4.0)、「専門分野において学びを深めたいと、意欲を持つことができた」平均値4.4(中央値4.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」平均値4.2(中央値4.0)「自分が学ぼうとする専門分野の課題を検討する力を得ることができた」平均値4.3(中央値4.0)と答えている。学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP、行動面から見ての内容の妥当性</p> <p>成績評価から見て、知識・理解に関する達成度85.3%であった。基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度は、できるだけ学校現場での実践がイメージできるように、具体的な事例を通して、実際の事例検討会のシミュレーションを授業の中に取り入れた。</p> <p>さらに、基礎知識を定着できるよう、グループワーク等の演習を交え、実践できるような力を身につけることができるように授業内容を改善していきたい。</p> <p>学生の意見として「採用試験もかねて勉強できた」、「過去問を解いたり、参考書や教科書を読んだりしました」、「自分が分からないところを調べた」「内容の復習をした」など積極的に授業に取り組んでいた。</p> <p>また、「健康相談委必要なことを学ぶことができました。(中略)先生が経験された熊本地震のお話がとても印象的でした」、「健康相談について事例をもとに、プロセスと具体的な内容について学ぶことができました。(中略)今後経験を重ねて、よりよい健康相談を行える養護教諭になりたいです。ありがとうございました。」などの意見があった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、養護教諭の一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識理解の面は概ね達成できたが、学校現場では臨機応変に対応することが求められる。基礎的な知識を定着させ、さらに学校現場で活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していききたい。また、事例検討会のシミュレーションをより効果的に授業内容に取り入れていきたい。</p> <p>さらに授業内容について基礎的な知識の定着を図るとともに、復習課題を設け応用問題等の提示をし応用力の養成に取り組んでいきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎看護技術	3	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状資格取得に必要な科目であり、病院実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては、「資格取得のために必要である」と94.7%の学生が答えている。「関心のある内容である」が42.1%であり、目標がはっきりしており、関心は高いという結果であった。そのため看護の基礎技術をできるだけ理解しやすいように講義を行った。授業において、実技のオリエンテーションを丁寧に行うことを心がけた。</p> <p>②基礎看護技術の技術の定着については、授業で学んだ知識や技術を学校現場や病院実習で実践できるように、知識や技能の定着ができるように丁寧な説明を心がけた。授業で学んだ実技の復習ができるように、実技の練習方法なども具体的に示した。さらに実技試験の前には模擬保健室等を活用し、実技練習の期間を設定した。さらに、解剖学の復習ができるように課題を提示し、解剖生理学の基礎知識の定着を図った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は75点（±10.8）であった。理想的レベルに（90点以上）2名（80点以上）以上に達したものは8名であった。</p> <p>授業評価の指標については、学習の到達度評価の全体評価では、「自分なりの目標を到達した」と回答した学生は平均値4.0（中央値4.0）であった。「知識を確認したり、新たに得ることができた」平均値4.3（中央値5.0）、「自分が学ぼうとする専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.2（中央値4.0）などであった。</p> <p>対面授業の際には、実習室で感染対策を行い実技演習を行った。実技演習の際には、教員の手元が分かるようにカメラなどを使用し、丁寧な説明を行い、理解が深まるよう心がけた。また、実技の練習については基礎看護学実習室、模擬保健室を活用し、ベッドメイキング、バイタルサイン測定等の練習ができるように練習期間を設けた。</p> <p>さらに、学校現場の実践において、看護の基礎技術を応急処置等にどのようにいかすのか、また、対人援助職としてどのように支援するのかということ課題ととらえ、授業内容を改善していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップからの位置づけからみて内容的妥当性 本科目は、「保健・医療関係科目」である。また養護教諭一種免許状を取得するための「養護実習」の履修要件科目である。受講動機から見ても多くの学生が、「資格取得に必要であるため」と94.7%が答えている。また、授業評価の到達自己評価において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」平均値4.3(中央値5.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」平均値4.0(中央値4.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野で学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.2(中央値4.0)、職業選択の参考になった平均値4.4(中央値5.0)と答えている。また、学生も一定以上の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP、行動面目標からみての妥当性 成績評価から、知識・理解に関する達成度は、73.0%、関心・意欲76.6%、技能・表現80.0%であった。授業で学んだ知識・理解の定着を図るよう、授業内容を工夫することから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価において、課題以外に取り組んだこととして、「振り返りシートを活用し復習(した)」、「(授業で)わからないところを調べた」、「気になった内容を調べた」、「いろいろな疾患について調べた」など熱心に取り組んでいた。 学生の意見として、「実習までにもっと知識を増やしていきたい」など積極的な意見があった。 実技の練習時間については、学生が十分技術の練習が確保できるように、看護臨床実習等の科目において練習時間を確保する予定である。また、学生が授業や実技の練習に取り組めるよう模擬保健室の施設を充実させ活用していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、養護教諭の一種免許状資格取得に必要な科目である。基礎的な知識・理解、意欲・関心、技能・表現についてはおおよそ達成できた。また、実技演習についてはさらに工夫を重ね、わかりやすい授業構造の改善に取り組みたい。 さらに、学校現場で生かすことができるような基礎的な知識や技能が習得できるように、授業内容の改善に努めてきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
看護臨床実習	3~4	後期（前期）	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、養護教諭一種免許状資格取得に必要な科目であり、病院実習、養護実習の要件を満たすための科目である。受講動機としては、「必須科目である」46.7%、「資格取得に必要な科目である」86.7%の学生が答えている。しかし、「関心のある科目である」6.7%であった。このことから目標ははっきりしているが、関心が低いという結果であった。</p> <p>②3年生の授業では、2年生での看護学の学習を踏まえ、病院実習における実践的な知識を身につけるために、解剖生理学の復習を授業に取り入れた。また、グループワーク等を取り入れ、具体的な事例を用いて授業を行った。</p> <p>③また、4年生の看護臨床実習では病院実習の経験を踏まえて、学校における養護教諭の実践に生かしていけるよう、学校現場で実際行う救急処置、保健指導などのグループワークなどを取り入れ知識理解の定着を確認し授業を行った。</p> <p>④救急処置の演習について、外部講師を招きAEDの使用手法など事例を通したシミュレーション演習を行い、学校現場の事故対応について実践的な授業内容を工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は78.0点（±7.8）であり、また、理想的レベル（90点以上）は4名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識理解に関しては、83.0%、思考判断は84.0%であった。技能・表現については、85.0%であった。さらに、授業で学んだ基本的なスキルを対人援助職として活用し、表現していくかを課題ととらえ、次年度に向けて検討していきたい。</p> <p>学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」4.3（中央値4.0）、「自分が学ぼうとしている専門分野について必要となる技術を身につけることができた」4.2（中央値4.0）であり、知識理解、思考判断についてはあまり差はなかった。また、到達度自己評価において、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深め意欲を持つことができた」平均値4.2（中央値4.0）、「職業選択の参考になった」平均値4.2（中央値4.0）と答えていた。</p> <p>今後は、授業で学んだ知識を専門職として表現できるような機会を授業の中で取り入れていくことが考えられる。そのためには具体的な事例を例示し、グループワークやロールプレイをさらに取り入れていくことを検討していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性 本科目は、「保健・医療関係科目」である。また、「養護実習」の履修要件科目である。授業準備性の欄で示したように、受講動機から見ても多くの学生が「資格取得に必要であるため」と86.7%が答えている。また、授業到達度自己評価において「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」平均値 4.2（中央値4.0）、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.2（中央値4.0）と答えている。また、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標から見ての妥当性 成績評価から、知識・理解、思考・判断、関心・意欲、技能・表現ともに高かった。さらに、授業で学んだ知識・理解、思考・判断を授業で表現できるような、授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であると考え。また、学生の授業の課題以外に取り組んだこととして、授業内容を活かし、養護実習や教員採用試験の勉強、BLSの動画を見ての予習や復習、さらに解剖学の復習などに取り組んでいた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生における授業以外に取り組んだこととして、「教員採用試験と共通する部分を勉強した」、「救急処置の仕方を調べた」、「参考書などを使用したり過去問をたくさん解いた」、「採用試験の勉強として授業で学習した内容についてもっと学びを深めることができた」、「家で、学習した包帯法などを練習した」など積極的に学習に取り組む様子がうかがえた。また、学生の意見として、「まだまだ十分とは言えませんが、適切な養護診断ができるようになっていきたいと思います。こちらからもよりよい養護教諭を目指して頑張ります」、「実践的なことが多く学べた授業でした。ありがとうございました」などがあった。さらに、学校現場で養護教諭として実践に生かせるような具体的な事例を通して、グループワークやロールプレイを取り入れ授業内容の改善をしていきたい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の意見として「病院実習を含めてたくさんの看護の知識や技術を学ぶことができた。」、「授業の中で発表する時間やグループで調べる時間があり学びが深まりすごくよかった。」などの意見があった。 本科目は養護教諭一種免許状資格取得に必要な科目である。さらに、学校現場で専門職として臨機応変に対応できるような実践力と技術を習得できるよう、授業内容の改善に努めていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	東 泉

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
薬理学	3	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の福祉学科における薬理学の受講者は、養護教諭を志す学生でアンケートでも概ね「資格に必要である」が志望動機で、内容に興味を持って受講していたのはごく一部の学生であった。 ・例年同様、養護教諭に必要な薬理学的知識を含む講義内容とした。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追再試験該当者もいたが、受験した学生は全員合格した。理想レベルに到達した学生が33%、標準レベルに到達した学生は49%であった。 ・ 「学習量の評価」では、アンケート回答者の5割程度の学生が予習・復習を行っていた。 ・ 今年は講義資料を配布したが、学生アンケートでは、ほぼ全員が配布資料への書き込みによる記録を行っていた。 					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・受講動機は、「資格取得に必要である」が多く、養護教諭になるための学生が多かったことから、DP1【知識・理解】のうち、CP2「養護教諭として必要な専門的知識を身につける」を目標としている。

・到達度自己評価では「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と答えた学生は多く、内容の方向性に問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・アンケート結果では、「テスト等の評価基準が明らか」、「学習の範囲が明らか」、「質問の機会がある」の3項目より、「説明の理解しやすさ」の評価平均は低く、学生の理解度に幅があった。

・今年度は当該科目では5割程度しか予習・復習を行っていなかった。現在使用中のテキストは絵を用いてかなりかみくだいて説明されており、初見でもわかりやすい。これまでに当該分野に関連する知識の修得機会がなかった学生には予習を薦めてみる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・学生は最終的に標準レベル以上に達したが個人差も大きい。

課題としては学生自身が養護教諭としてある程度の知識が必要であると感じながらも学習量が少ない傾向にあることである。

例年、学習課題があると真摯に取り組んでくれる学生が多いので、次年度は講義時間外にもできるような具体的な予習・復習課題を示してみることにする。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健学	3	前期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する必須科目、かつ教職の必須科目であることから、他の受験資格科目と、教職科目との関連性を考慮して講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、1, 2年次での開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明し、教職課程における本講の重要性を述べた。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、定期試験の件、社会福祉士の実習期間に伴う補講の件、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、関連キーワードの確認テストを行ったり、前期のみの講義で、30コマあること（週に2コマ）から学習状況確認のために、14回目に中間的な小テストを行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジメを作成して配布し、理解度を高めた。</p> <p>なお、今年度に関しては対面講義であり、学生の反応を直接確認することもでき、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が約4割を占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけではなく、教職との関連性も含め、幅広くメンタルヘルス全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、精神保健福祉士の国家資格を取得するためと、教職必修の科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、精神保健福祉士の受験資格を取得し国家資格も取得するけれど、精神方面には進まないという学生や、教職免許は取得するも、教育方面には進まないという学生の受講もあったが、メンタルヘルス領域に興味があるということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができることができる」の平均点が、他の項目より低かった。可能な限り昨年度以上に事例等の導入を引き続き検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を引き続き検討していくことを次年度の課題としたい。学術データベースの利用に関しても殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも引き続きの検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、引き続き指導を行いたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目、および教職必修科目ということで、精神保健福祉士養成レーンと養護教諭レーンの学生の受講が多かった。2年次での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて講義を行ったが、2年次に受講していない学生（養護教諭レーンや、メンタルヘルス領域に関心を持つ者）も受講していることから、前半部分は2年次の復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度も引き続き予習復習に関して具体的な指示を出すことにしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	藤和 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
公衆衛生学	3	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①公衆衛生学は選択科目であるが、養護教諭資格取得に必須である。内容が幅広く、勉強意欲関心が重要になる。受講動機を見ると、「必須科目である」53.6%、「資格取得に必要である」82.1%で、「関心のある内容である」14.3%で、関心が低い内容であることを示唆するものであった。</p> <p>②初回の授業の最初に学習準備のため、シラバスを用いてオリエンテーションを行った。予習・復習について説明を行った。</p> <p>③授業で使用する資料を配布し、できるだけわかりやすい内容とした。</p> <p>④授業中の学生たちの勉強意欲・関心を高めるため、授業中の質問や討論を増す必要がある。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①本試験の成績の平均値は71.1(±8.1)点であり、不合格者は5名でした。標準的レベル(概ね70点以上として試験を作成)に達成した。</p> <p>②「自分なりの目標を達成した」と答えた者は100%で、知識理解、意欲関心については目標が達成されたと考えられる。</p> <p>③「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」と答えた者は100%であり、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」と答えた者も100%であった。</p> <p>④「図書館、インターネット利用」は非常に少なかったため、今後は課外課題を与え、図書館、インターネット利用を促進したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目、保健医療関係科目」であり、選択科目である。養教一種免許状に必須である。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識・理解、関心意欲については目標を達成した。今年対面授業だったし、対面で試験を実施した。内容は公衆衛生上重要である疫学調査、感染症に関する知識、対策及び予防方法、分野保健及び医療保険制度についてまとめた試験問題を作成し、学生の知識と考え方を評価した。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均が3.9で、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が3.4であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均は3.6で、授業の内容はよかった。また「説明は理解しやすいものであった」の平均が3.8であった。次年度に向けては、知識・理解の行動目標をより具体的に示した上で、課題解決型学習に力を入れて授業を進めたい。 学生の意見として、「様々な研究方法で疫学統計が行われていることが知りました」、「説明が難解だった」という意見と要望があった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>専門教育科目にあたる本科目の位置づけから、知識理解の面で課題は達成できたが、関心意欲については課題を残した。今後、公衆衛生学の仕事現場での重要性をしっかりと説明し、学生の関心意欲のさらなる向上を目指していきたい。 授業過程を振り返ってみたとき、授業中、質疑応答、発表の時間が少なかったことで、学生の積極的な発言など関心意欲を高めることができなかった。以上から、毎回の授業のねらいを具体的に示して、予習したかをチェックし、授業中の質問、応答、発表時間を増やして、学生の関心意欲を高める努力を行っていきたい。 講義スライド、配布物（授業の参考資料）に関しては、充実させ、来年度にむけて授業進捗と内容説明について改善して行きたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容 環境	3	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないことと、演習内容として栽培活動があるため、その点については変更しようがない。その他の教授内容については、事例提示だけでなく視聴覚教材を交えての教授を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」からも一定の達成度は得られたと考える。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育内容に深くかかわる科目であると同時に具体的に「栽培すること」や「作成すること」といった課題があることから、関連DPについては妥当であると考えている。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

成績評価、学生の自己評価から、授業の進め方は概ね問題ないと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	節原 香智美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
学校保健	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学習準備として、事前に授業で使用するPowerPointなどの資料をクラスルームに掲げ、予習できるよう配慮した。</p> <p>また、授業の後半で、レポート発表（3グループ）を設け、健康教育の現代的課題について、自分なりの考えをまとめ、それを発表する活動を設定した。互いの発表を聞きあい、それを評価する活動を通して、思考判断や意欲関心を高めていった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○本年度は、学校保健や養護教諭像が具体的にイメージできるように、私自身の経験等を紹介しながら授業を進めて行った。また、授業中に質問の時間を与えても質問をしないので、毎授業ごとにコメントカードに質問を書かせ、次週の講義の時にそれについて解説をするという方法をとった。主体的に行動する学生が少ないように思えた。</p> <p>○「図書館、インターネット利用」については、自分の課題であるレポート発表の際は活用してパワーポイントを作成していたようだったが、日常の講義においては、教科書・講義時に渡した印刷資料及びクラスルームに掲載した資料等が活用できたと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

○「学習到達度の自己評価」については、全ての項目で平均値が4.0を上回っていることから内容的に妥当だったと考える。特に、自分が学ぼうとしている専門分野について「さまざまな課題を検討する力を得ることができた。」「的確に判断する力を得ることができた。」「学びを深めたいと意欲をもつことができた。」「必要となる技術を身に付けることができた。」と答えた学生が多かったことは評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

○「レジュメと講義資料で使ったパワーポイントが連動しているようなプリントを配ってくだされば、もう少し理解がしやすかったと感じます。」というコメントから自ら学ぼうとする意欲や知識等を身に付けようとする努力が感じられず、とても残念です。それを掘り起こせなかった自分の力量不足も感じますが、大学生としての学力及び学ぶ意欲の低下を感じています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○本年度は対面授業で実施できたことは評価できるが、コロナウイルス感染（濃厚接触者）等により、欠席者が多かった。来年度もコロナ禍での授業となることが予想されることから、補講リストには上がらないが、欠席者への対応（学生の目標達成）が課題と思われる。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅰ	3	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会的養護Ⅰについては、第1回目に授業の進め方を学生と確認した。実際の社会的養護に係る子どもや家族、援助者の姿がイメージできるように、公開されている（一部は作成部局の許可を得た映像）ものを視聴した。また、少人数の授業でありテキストを通読することで、イメージとともに社会的養護に関する理念や理論そして社会的養護Ⅱにつながる援助技術についての理解の進化を試みた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		どちらともいえない	どちらともいえない	やや達成された	どちらともいえない	どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>理解程度の確認のためのテストでは、十分でない学生と基準に到達している学生と、中間的な学生とが混在しており、当初の達成基準に学生がすべからく到達したとは言い難い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容の妥当性はあると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生のニーズや社会的養護を理解するための基礎的な知識等の獲得レベルについてもその幅が広く、各回の授業において解説のたびごとに必要に応じてその確認をしてきた。今後も継続したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

理解程度の確認のためのテスト結果から、十分でない学生と基準に到達している学生と、中間的な学生とが混在しており、当初の達成基準に学生がすべからず到達したとは言い難い。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの理解と援助	3	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>基本的には、保育士資格取得のための必須科目であり、全ての学生がそれに該当する。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業準備においては、専門職として最低限必要な内容は必ず盛り込むことと、事例提示や取り上げるトピックについて受講学年の興味・関心に沿ったものを準備するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」から、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。とはいえ、全ての学生の成績評価が十分だった訳ではなく、やや達成されたとした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけは妥当なものであると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

受講人数が少ないということもあり、比較的時間的な余裕を持って授業を進行できた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの健康と安全	2	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であることが分かる。</p> <p>そのため、専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子は開講まで正確に把握することはできないため、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を行い、机上の知識とならないよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の「達成度自己評価」から大多数が目標を達成できていると捉えており、成績評価においても概ね基準を満たしていた。講義態度も積極的であり、意欲的に参加していた。毎授業ごとの小テストを行うことで、前回の授業の重点ポイントを整理したり、学生のこれまでの生活の経験から授業内容が理解しやすくなるように事例を用いての理論の解説を試みたが、全体として目標達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、学生の到達度の自己評価からも概ね問題ないと考えている。今後の課題としては、学習習慣が身につけていない学生への働きかけと主体性の向上であると考えます。これらの学生に対しては、教科書の内容解説や専門職としての事例提示ではなく、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入が必要であると考えます一方で、科目教授内容の過密さから困難な側面もある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標としている本科目で、学生が目標達成に向け取り組んだ結果が自己評価・成績評価からも確認できることから、概ね目標は達成できたと考えます。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭支援論	4	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については「資格取得に必要である」80.0%、「関心のある内容である」20.0%(回答者5名中1名)と、授業への関心の低さがみられた。また、家族を主題として取り扱う科目は3年次までにないため、学習準備性においては実習での個々の経験や各資格ごとの専門科目によって個人差があると考えられる。学生の学習意欲を維持・向上させながら、新たな知識や事象を理解する視点を獲得することができるよう、多くの具体的事例や視聴覚教材を用いるなどの工夫を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」によると「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」「的確に判断する力を得ることができた」「学びを深めたいと意欲をもつことができた」「必要となる技術を身につけることができた」に対して「かなりそうだと思う」との回答が60.0%、「わりにそうだと思う」が20.0%であった。教育目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は保育士資格取得に必要な科目であり、新たな知識を習得するとともに、既習科目で得た知識を応用しつつ、いかに捉え、判断し、検討するか、その力を養うことが求められる科目である。このような点において一定程度の成果が得られたことから、CP、カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性に問題はないと考える。</p> <p>②DP,行動目標からの内容的妥当性 それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>最終学年の授業であるため、単なる知識理解に終わらず、様々な社会事象に関心を向け、多角的な視点から捉えようとすることの重要性や面白さに学生自身が気づき、さらに学びを深めることに対していかに意欲を高めていけるかが課題であると考えます。授業の質の評価では、4.4～4.6の評価を得たが、学習量の評価や図書館利用等において課題の残る結果であった。さらに改善に取り組んでいきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成度自己評価、授業の質評価等が示す数値と、学生の授業への取り組みや提出物などから、教育目標はある程度達成できたと考える。さらに学生の学びを深める意欲を高め、自発的学習に結びつくよう工夫していくことを来年度の課題としたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子育て支援	4	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達である。そのため、専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の「達成度自己評価」から大多数が目標を達成できていると捉えており、成績評価においても概ね基準を満たしていた。特に、多領域の実践者を外部講師として招聘したことで、理解が深まったと考える。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

多領域の実践者による、具体的な実践内容の教授とそれに関連する自主学習を組み合わせたことで、より深い理解を得られたと考える。そのため、授業の進め方は問題ないと考えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の計画と評価	4	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目のため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業準備においては、専門職として最低限必要な内容は必ず盛り込むことと、事例提示や取り上げるトピックについて受講学年の興味・関心に沿ったものを準備するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された		やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。授業中のプレゼンテーションについて、グループによっては、内容が十分でないグループが若干あり、やり直し等も行った。そのため、「意欲・関心」については、完全に「達成された」とは言えないが、大半のグループは質の高い発表ができていた。一部学生については課題の提出状況も芳しくなく、全体としてやや達成されたとした。					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に中・長期の保育計画について理解し、立案ができるようになることが最大の目標であることから、関連DPについては妥当であると考えます。また、保育計画立案のためには、乳幼児の発達について理解していることが前提となるため、開講年次についても、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

長期計画の立案に関しては、基礎的な知識の教授後に実演を交えての課題として設定していたが、学生からの質問が非常に多く、講義の中で実演を予定より増やして提示を行った。結果として、学生の理解が進んだと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

特に長期計画立案については、長期に渡る家庭学習が必要であることから、授業評価アンケートの自由記述においても時間的な余裕の無さが多数確認された。とは言え、保育士資格取得の上で特に4年制の保育士養成ということを踏まえると、就職後必ず必要となる内容であるため、教授内容を変更するわけにはいかない成績評価上は概ね良好であるため、問題ないと考えます。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育 II	3	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であり、実践現場についても十分とは言えないがそれぞれ実習で学んだことをさらなる学びに繋げようという意思も感じられる。そのため、講義形式で知識の伝達等に留まらず、演習の中で専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子は開講まで正確に把握することはできないため授業内の学生の興味・関心や技能・経験を把握することに努め、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を行い、机上の知識とならないよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の「達成度自己評価」については大半が達成できたと考えているが、成績評価から全員が目標を達成したとは言い難く、「やや達成された」とした。課題に取り組む際に「図書館利用」「インターネット利用」については一部学生においては幅広いソースから学習の準備をしていたと判断できるが、学習準備性についても個人によって意欲・能力に差異があり、全員が期待する学習量を満たしている訳ではなかった。資格取得のための科目という性質を考えると、受講意欲が低い学生も数名みられたが、学生が主体的に授業に参加したと思える割合を増やすことで意欲を持って授業に臨めるようになった学生も少なくなく、全体としての目標達成度は達成された部分が多い。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

一部成績下位の学生については、授業開始時に実施する確認テストが解答できない等、学習習慣が確立していない学生が一部存在するものと考えます。これらの学生に対しては、さらに具体的な学習方法の提示や、課題に対するアセスメントを行いながら、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入が必要であると考えます一方で、科目教授内容の過密さから困難な側面もある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標としている本科目で、成績評価と学生が目標達成に向け取り組んだ結果として、概ね目標は達成できたものと考えます。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容の理解と方法Ⅲ	2	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」からも一定の達成度は得られたと考える。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育内容に深くかかわる科目であることから、関連DPについては妥当であると考えている。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方は概ね問題ないと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワークの基盤と専門職	1	前期	必修	いいえ	81

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験に関する科目である。特段、社会福祉専門職になるための基盤となる科目であり、本学科で非常に重要な科目であることから、動機付けを大切に講義している。</p> <p>第一回目の講義時に受講に関しての詳細の説明をし、シラバスに則って講義を進めた。講義の最初には、新聞等から毎時間必ず時事に関する話題を提供し、それが社会福祉専門職としてどのように捉えたらよいかを考えさせる時間を設けた。予習復習の内容の説明、理解しておくべきキーワード、実践につなげるように専門職能団体の研修会案内等々も随時行った。リアクションペーパーに関しては、予習復習の時間の記入や、その方法、また本日の自己採点点数記入などを導入し、学習意欲の向上に努めるよう工夫した。また、新カリに移行し、前期がⅠ、後期がⅡとなり、それぞれでの評価をすることを説明した。</p> <p>なお、今年度に関しては対面での講義であり、学生の反応を直接確認する機会もあり、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員が合格領域に到達しており、標準的レベル以上に達成したものと考えられる。定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。また、遅刻や欠席がほとんどなく、定期試験の結果も理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけではなく、幅広く社会福祉専門職としての現状や考え方、障害福祉、精神保健福祉、貧困等々の多岐にわたる分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格を取得するための必須専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、社会福祉を学ぶための1年生で開講する基礎的科目であることから、福祉専門職に興味があるということで、非常に高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解は一定程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができることができる」の平均点が低かった。必修科目であり、多くの人数が受講する座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討していき、次年度の課題としたい。学術データベースの利用に関しても殆どなされていない現状であり、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、指導を行いたい。毎時間、予習復習の具体的情報提供を行うことも続けていきたい。次年度も、更なる工夫をすることを考えていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということと、福祉学科に入学して初めての福祉の専門科目ということで、非常にモチベーションの高さを感じられた。また、今から開講される、社会福祉士や精神保健福祉士の関連科目とのつながりを考えて、思考が継続できるように講義を行った。次年度も、それらに引き継ぐような関連性を持ちながら講義を行いたいと考える。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回福祉業界の時事に関する資料配布し、その説明を行い、福祉専門職としての理解を深められたと感じられる。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	84

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、「必修科目である」89.3%、「資格取得に必要である」42.9%、「関心のある内容である」25.0%であった。本科目は1年次の「ソーシャルワークの基盤と専門職」の習得内容の理解を前提としており、2年次より開始となる「ソーシャルワーク実習」に臨むうえで習得理解しておくことが前提となる科目である。カリキュラム改定により実習開始が1年早く位置づけられたことから、実習に向けての準備につながることも意識しソーシャルワークの実際を具体的にイメージできるよう、理論の理解につながりやすい事例を用いて解説することに努めた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う53.6%、わりにそうだと思う28.6%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う46.4%、わりにそうだと思う32.1%)、「思考・判断」(DP2)においては、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う39.2%、わりにそうだと思う39.2%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う46.4%、わりにそうだと思う35.7%)、「関心・意欲」(DP3)においては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う46.4%、わりにそうだと思う35.7%)であった。学習到達度の自己評価においては、特に「知識・理解」における達成度が高い結果だったが、定期試験における再試験対象者数が履修者数の18%に及んだことから、本科目における教育目標は「意欲関心」においては達成されたが、「知識理解」においては「やや達成された」とした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP:行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記載したように、試験の結果、学生の学習到達度自己評価から、DPにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。</p> <p>②CP:カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は1年次「ソーシャルワークの基盤と専門職」における学習内容の理解を前提とした科目であり、他の関連科目での学習内容も取り入れつつ、「ソーシャルワーク実習」に臨むうえでの学習準備性が整えられるよう、ソーシャルワークを実践するための視点と知識を身につけることを意識した授業内容と展開を心掛けた。内容的妥当性において問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」においては、平均値3.9～4.3であった。「学習量の評価」においては、1回30分程度以上の予習・復習を50.0%、46.4%の学生が一度も行っていないことは反省点である。学生が学びを深めたい意欲をもち、自発的学習につながるような授業の展開を工夫していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目において、ソーシャルワークの実践に関する基本的な知識を身につけることはある程度まで達成できたと考える。授業での学びにとどまらず、学生がさらに学びを深めようとする意欲を引き出し、主体的自発的に学ぼうとする態度の形成につながるよう、さらなる改善を行ってきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	84

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期は、地域福祉の基礎概念や民生委員、社会福祉協議会、共同募金等の地域福祉を推進する主体について講義を展開した。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。なお本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止について配慮し、対面授業を展開した。① 講話法を中心とした講義の展開が主であった。地域福祉の視点は、福祉専門職のみならず、教職・保育などと地域を担う支援者において横断的な理解が求められる。そのため3年次以降の本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。③ レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。④ 本講義の特性上、地域福祉に係る知識の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度は新型コロナウイルス感染症流行下であったが、対面授業が中心であった。全員が標準的レベル及び理想的レベルに概ね達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」が平均値4.4と最も高かった。次に(3)(5)(6)の順であった。3「授業の質評価」は中央値の水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、地域福祉の観点からその知識について問うものである。地域福祉の概念・歴史、法律・制度、近年の地域福祉の問題等については、広範な情報量となるため、現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士・精神保健福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、地域福祉の概念・歴史、法律・制度、サービスを理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は地域における地域福祉の推進の主体や概念、近年の地域社会における福祉的課題の現状を踏まえて、地域における地域住民の役割、地域の支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の地域福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による地域の実情(福祉的課題、地域の動向等)、福祉法制度・サービスの動向を注察する必要があるが、2022年度の講義に関しては、学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価から表現技能に関する達成度が比較的低かったが、今後の社会状況の変化による地域の実情(福祉的課題、地域の動向等)、福祉法制度・サービスの動向等についての表現の機会が少なかった点では方法的妥当性の問題である。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題(具体的な事例)を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値3.9と全体数値よりも低かった。本科目は地域における地域福祉の推進の主体や概念、近年の地域社会における福祉的課題の現状を踏まえて、地域における地域住民の役割、地域の支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の地域福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。そのため、考え、話し合い、発表する機会が少なかった。次年度に向けて関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値3.9と全体数値よりも低かった。本科目は地域における地域福祉の推進の主体や概念、近年の地域社会における福祉的課題の現状を踏まえて、地域における地域住民の役割、地域の支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の地域福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。そのため、考え、話し合い、発表する機会が少なかった。次年度に向けて関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会保障Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	84

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は27名（回答率32.1%）であった。受講動機を見ると、「必修科目である」100%、「資格取得に必要である」48.1%であった。本学科における必修科目であるとともに、社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、医療保険・介護保険を中心に、法改正が頻繁に行われる社会保障制度について、最新の情報を提供することに努めた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は、授業中の確認テスト・コメントに加えて、前期試験も用いて成績評価を行った。素点の平均点は70.45点（福祉・養護教諭コース2年70.83点、子ども家庭福祉コース2年75.67点）であった。なお、全体の平均が各コース別平均より低いのは、3年生の再履修者を含むことによる。また、再試対象者は15名（ほか、出席数不足2名）、理想的レベル（90点以上）に達した者は6名であった。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.4、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値はともに4.3、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値はいずれも4.2であるほか、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」を除くその他の項目の平均値は4.0～4.1であった。通年科目であった昨年度の「社会保障論」とは単純に比較はできないが、昨年度よりやや上回っている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP:カリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「必修科目」、「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であると考え。②DP:行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考え。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.6、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は4.5、「説明は理解しやすいものであった」、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値ともに4.4であった。これについても、昨年度の「社会保障論」とは単純には比較できないが、いずれの項目も昨年度より上回っている。学習量について、予習をしていない学生が10名、復習をしていない学生が9名と、予習をしていない学生の割合は昨年度より増加しているが、復習をしていない学生の割合は減少している。授業以外の課題に取り組んでいない理由については、「授業内容で十分だと感じたから」、「時間がない」、「他の教科の課題で精一杯だったから」などの回答がみられた。他方、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習について「復習」、「教科書の確認」のほか、「大事な所をノートにまとめて書いた」など、自分でノートを作成したとの回答が複数あった。学生の意見は特になかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特になく考える。後期の「社会保障II」でも、引き続き社会保障制度の知識理解、意欲関心を高めていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
高齢者福祉	2	前期	必修	いいえ	83

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、2年生を対象とした福祉専門科目（必修）であり、社会福祉士指定科目の1つでもある。新カリキュラムへの移行により、本年度が最初の開講となった。授業では、教科書を中心に展開し、単元ごとにレジュメを作成するなど、学生の内容理解を助けた。また、重要語句やポイントが判別しやすいようレジュメの内容・形式を工夫した（レジュメを空欄にし、学生が直接記入）。さらに、毎回の授業後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期末試験の平均は68.5点であった。追再試の受験者は17名おり、このうち5名が不合格となった。各DPの達成度について、学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（わりにそうだと思う42.9%、かなりそうだと思う50.0%）となっており、目標は達成されたと言える。「思考判断」（DP2）については、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」（わりにそうだと思う46.4%、かなりそうだと思う42.9%）であり、これも目標を達成できたと言える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う39.3%）であり、目標を達成できたと言える。</p> <p>一方で、授業評価アンケートからは、本科目を通して知識の修得はできたものの、学生の主体的学習態度を引き出すと言う点で課題があることが明らかとなった。例えば、学生が授業の課題以外に学習に取り組んだ割合は、「していない」（67.9%）であった。また、授業参加のための準備学習（30分程度の予習）をしていない学生が46.4%、授業の復習をしていない学生が32.1%見られた。図書館の学術データベースやインターネットの利用も低調であった（「利用しなかった」が各100%、64.3%）。</p> <p>以上のことから、全体として目標は「やや達成された」と言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
試験結果に関してはやや課題があるものの、学生の達成度自己評価結果からは各DPの教育目標は達成しており、位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ
本科目は福祉専門科目（必修）であり、社会福祉士指定科目でもある。3年次の相談援助実習の領域の1つに高齢者福祉領域があることから、本科目の配当年次に問題はないと考える。また、教育目標も概ね達成しており、CP・カリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

全体の教育目標としてはある程度達成したと判断できる一方で、試験結果（平均68.5点、不合格者5名）や学生の主体的な学習態度（授業以外の課題の取り組み、予習・復習、図書館の利用）といった点では課題が残ったと言える。昨年度同様に、毎回の授業ごとに予習・復習のポイントを的確に提示し、学習量の確保や主体的な学習態度を促していく必要があると考える。また、課題を課すことも検討する必要があると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

上述の通り、特に試験結果において課題が見られた。この点、学生の中には80点以上（優）の成績を修める者も一定数おり、個々の理解度・習熟度に差があることが推察された。今後は、毎回提出させるコメントカードの内容を踏まえた復習や小テストの定期的実施も必要と思われる。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
児童・家庭福祉	2	前期	必修	いいえ	85

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>毎年度説明していることであるが、第1回めに授業の進め方を確認している。各回の重点的な内容・専門用語の理解等については特に強調して解説を試みた。また配布するパワーポイントのレジюмеについて、各回の内容の復習ができるようにテキストの該当ページを明示し、国の資料等はアクセスし確認することを促した。毎年教科書の使用についてアンケートに記述があるが、授業開始に予習・復習、用語の理解等に利用するよう説明しているにもかかわらず記述があるのは残念である。また授業で使用するパワーポイントについては、教室前面のスクリーンで見れば確認できるので、字が小さくて分かりづらいと記述していた学生にはぜひ前の方での受講を期待したい。レジюмеの文字が小さいものの多くは行政等の統計資料であり、これも必要に応じて引用元へアクセスするように伝えていた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった		どちらともいえない		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>定期テストの結果からすると全体的に十分に達成できたとは言い難い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容的な妥当性はあると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、第1回目に確認していたが十分に伝わらなかったかもしれない。また教員の解説時の活舌についてアンケートに記述があったが、マスク越しであることや授業の内容説明が既知のことと判断し進めたことによるのかもしれない。都度都度の確認をさらにふやしていく必要があるのかもしれない。参考文献等から自発的に学習を深めている学生もおり今後の学習深化を期待したい。また、この教科への学習動機づけが課題となる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

定期テストの結果から授業内容の理解については、十分ではなかったと考えられる。全体の枠組みや授業で解説する内容が既知のとあまり先験的に考えずに都度都度確認し解説することが必要であると考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保健医療と福祉	2	前期	選択	いいえ	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は一般市民としての教養ではなく、利用者、当事者、患者へのかかわりを専門職として、また、自分自身においても我がごととして理解しておくことが求められる問題であると説明し講義した。また、現実社会において起きている事象に興味を持ち、知識を蓄えることを願って具体的に指導した。受講動機で、「関心のある内容である」が23.5%と低く、一方で「資格取得に必要である」が58.8%と現実味を感じてもらえなかったのは残念であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価は一応の理解はできるものの、「まあそう思う」が主な回答になっており、評価は高いとは言えないが成果としては到達できたと考える。しかし、「学びを深めたいと意欲をもつことができた」と答える者がいたことは喜ばしい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

到達度自己評価DP一応の理解はできるものの、「まあそう思う」が主な回答になっており、評価は高いとはいえないが学んだ成果として到達できたと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

シラバスに沿い、教科書を中心に進めたものの、結果として1セッションごとに講義が終わらず、理解し辛かった点は反省する。しかし、実践的な話に対する興味をもってくれる者もあり、今後は話とともに区切れよく講義を進めていくことにする。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の進路がいずれの領域になるにしても、医療は切り離せるものではなく、むしろ学び得ておくべきだと思う。

可能な限り実践現場における問題や起こりうることなどに対し即応できる知識の習得を考えると、話が多くなってしまったことに対する反省とともに今後においても具体的に学ぶことがどのように反映するのかを指導していきたい。数は少なくとも学習達成していることで評価されていると考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（2年次対象・選択）の1つであり、ソーシャルワーク（専門）Ⅱ・Ⅲ・Ⅳと連動し、教員4名のオムニバス形式で展開している。新カリキュラムへの移行後、本年度が最初の開講となった。主な内容は、各教員の専門領域（障害福祉、高齢福祉、医療福祉、学校福祉）における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「必修科目である」（87.5%）が最も多く、次に「資格取得に必要である」（62.5%）が見られた。一方、「関心のある内容である」は12.5%となっており、学生の関心・意欲等を高める授業内容・展開を工夫する必要があると考える。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成度について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見てみると、「思考判断」（DP2）は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（かなりそうだと思う62.5%、わりにそうだと思う31.3%）となっており、目標は達成されたと言える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う62.5%、わりにそうだと思う25.0%）であり、これも目標は達成されたと考える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う68.8%、わりにそうだと思う12.5%）であり、目標を達成したと言える。「技能表現」（DP5）は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」（かなりそうだと思う62.5%、わりにそうだと思う25.0%）、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」（かなりそうだと思う56.3%、わりにそうだと思う25.0%）であり、目標はやや達成されたと考える。</p> <p>以上のことから、教育目標は達成したと考える。しかし、学習量の評価（予習0回68.8%、復習0回62.5%）や図書館の利用状況（図書・雑誌や学術データベースを利用した0%、インターネットを利用した25.0%）からは、学生の主体的学習態度の涵養という点で課題が残ったと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
学生の到達度自己評価による教育目標の評価結果（「達成された」）から、DP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP,カリキュラム上の位置づけ
本科目はソーシャルワークの専門的視点、態度、知識、技術を実践的に修得するものである。これらの学びはソーシャルワーク実習（2年次、3年次）の展開において不可欠であり、本科目のCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教育目標は達成されたと評価できる一方で、学生の学習量の確保や主体的学習態度の涵養という点では課題が残った。既述の通り、本科目はソーシャルワークⅡ・Ⅲ・Ⅳと連動しながら各専門領域の援助実践を学ぶ科目である。今後は明らかとなった課題について担当教員と共有し、改善策を検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本年度、科目の教育目標は達成された。今後も引き続き担当教員間の連携を図り、授業内容・展開方法の質の向上を目指したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次の社会福祉士指定科目であり、「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目である。</p> <p>本演習は、社会福祉士のカリキュラム改定により、本年度より新カリキュラムに移行した。</p> <p>学生の受講動機をみると、「必修科目である」が66.7%、「資格取得に必要である」が88.9%、「関心のある内容である」は22.2%であり、多くは資格取得のための履修であることがうかがえる。</p> <p>本科目では、福祉的課題を抱えた人々に対する支援事例を活用し、ソーシャルワークの展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。本演習は、2年次の学生が対象であり、学生にとって初めての専門的なソーシャルワーク演習となるため、ソーシャルワークに関する基礎的な知識や技術等を再確認しながら、実習で実践的に用いられるソーシャルワークの視点や職業倫理、援助技術を習得できるような内容となるよう工夫した。また、ソーシャルワークの実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを実施して、学生同士の意見交換から課題解決を導けるような演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は、80.3点、中央値は82点であり、標準的な成績であった。学生の学習到達度の自己評価は、「自分なりの目標を達成した」の平均値4.2、中央値4.0で、目標は「達成された」と判断した。各項目をみると、DP2の「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値4.3-4.4、中央値5.0、DP3の「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が平均値4.4、中央値5.0、DP4の「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が平均値4.4、中央値5.0、DP5の「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値4.3-4.6、中央値5.0であったため、目標は「達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本演習は「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4. に記したように、内容的妥当性には問題がなかったと考えられる。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性

上記同様、内容的に妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業の質評価の各項目は、平均値4.4-4.6、中央値5.0であり、「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかったため、授業の質は問題なかったと判断した。

学習量の評価に関する自由記述をみると、「予習」「キーワードを調べた」との回答があり、課題等の提示を通して自己学習が促せたと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価により、概ね授業の目標は達成されたと考えるが、新カリキュラムに移行したばかりの科目であるため、学生の実習における達成度評価等も踏まえ、次年度以降も教授内容を検討していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、これまでの相談援助系の科目を通して学んだことを踏まえて、1 いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、2 課題を抱えた人々(当事者)の状況、3 ソーシャルワーカー(社会福祉士)による具体的な支援内容、4 ソーシャルワーカーに求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めることを本授業の目的とした。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。なお本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止について配慮して、対面による授業を展開した。</p> <p>① グループワーク等を中心に、基礎的な視点に基づき、本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。</p> <p>② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。</p> <p>③ 講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。</p> <p>④ 本講義の特性上、福祉的な問題の理解や実際のコミュニケーション技術の方法等の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値4.6と最も高く、(1)「自分なりの目標を達成できた」、(3)「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」、(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、(5)「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値が4.3と次に高かった。その一方で、(8)「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」、(9)「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」は平均値4.0であった。3「授業の質評価」は中央値のほぼ水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、相談援助に携わる上で、①いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、②課題を抱えた人々(当事者)の状況、③ソーシャルワーカーによる具体的な支援内容、④ソーシャルワーカーに求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めた。今後も現代の社会福祉問題に関連させ、ソーシャルワーカーの社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤に基本的なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の基礎を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、社会福祉の基礎的な知識や技術を学ぶ科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、ソーシャルワーカーがどのような倫理と価値をもち、実践するのか等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。4年次の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、2022年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。自己目標・職業選択に関する達成度が比較的低く、方法的妥当性の問題である。しかし、3年生の段階では自分自身の将来の選択肢について、その専門性を高め、自己内省を深め自己決定をしていくものであるため、本科目を学んでの今後の学生の成長を注察したい。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、(8)「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」、(9)「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値4.0と全体数値よりも低かった。本年度は、地域社会における福祉の問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、グループディスカッションが十分にできなかったことが考えられる。科目の性質上、社会福祉における知識・技術、価値、専門性をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面においてソーシャルワーカーが社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。学生の意見として、授業での学びを深めるために、課題を提示し、その学びを整理するとともに、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉実践の展開を学ぶ位置づけであることから、相談援助における基礎的知識の形成と事例を通してみた福祉専門職としての実践の在り方については概ね達成できたが、地域や多様な生活場面に応じた実践をする上での相談援助技術の面で課題を残した。この点は、次のソーシャルワーク演習(専門)IIにおいてソーシャルワーカーが対応する実践事例の検討や演習活動を取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	中川 美幸

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生が自由に考え、物事を多面的に捉えられるような事例を準備した。また、解説では、現場での似た事例なども説明することで、より学生がイメージし、学びを深められるよう意識した。また、ワークシートは、個人で考え、次にグループワークを行うことで、自分の考えを言語化できるように組み立てた。他に、ロールプレイ場面も演習の中で取り入れ、面接技術を身につけることと同時に、クライアント体験をすることで、ソーシャルワーカーとしての支援の姿勢や声かけ、表情などを学ぶことも行った。加えて、ワークシートの中に、その日の授業で学んだことや、感想等を書く欄を設け、その中で出た質問等は、次の授業の中で全体で共有し、説明を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	やや達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの到達度自己評価において、前項目が4.3点以上あり、成果はあったと評価する。また、自由記述の、「理解を深めることができた」や「ロールプレイの能力が少しずつついたと実感します」というコメントからも学修効果を実感していると確認できた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

社会福祉の対人援助職を身に着けておく姿勢や倫理観も含め、知識と技術を身に着けるものであることから、関連DPについては妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は4.7～4.8点であった。毎回、授業の感想や質問を学生に記入してもらい、翌週に大切なことや質問は全体で共有した。また、毎回、学生の感想には、こちらからもコメントなどを記入し、返却した。このようなことから、双方向で授業を進めることができたと思う。また、学習量の評価では、予習者が少数にとどまった。課題などを提示するなど、自発的学習を促す工夫もしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

到達度自己評価の結果とアンケートの自由記述から、教育目標はある程度達成できたと考えられる。来年度以降は、学生の自己学習意欲を高めていくような課題などを工夫したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉の原理Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士を目指す上で必須の科目となる。精神障害に関する日本の歴史や社会課題、海外の歴史などを学び、精神保健福祉士に求められる専門性の基本的知識について学ぶ科目である。受講動機は「資格取得に必要である」が88.5%と一番高く「感心のある内容である」が38.5%と低めである。授業では聴く、書く、伝えるという作業を軸に、日本と諸外国の精神保健福祉に関する取り組みを比較し、より理解を深めるためにDVD視聴などを取り入れ授業を行いながら、精神保健福祉に関する感心が高まるよう工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と「専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」の中央値は5、平均値4.3と高く、基礎的な知識を得ながら感心が高まっていることがうかがえる。また、ノート作成を通じた振り返りまとめる（要約する）作業を通して、復習にも繋がっている様子がうかがえる。到達度として一番低かった「コミュニケーション力や表現力」に関しては、さらに小グループでの伝え合う機会を増やしていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機では「資格取得に必要である」という動機が一番高く、達成自己評価からは理解の深まりや興味関心の広がりがうかがえる。精神保健福祉士を目指す上で基礎的な知識を身に付ける本教科において、内容は打倒であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本教科は精神保健福祉士を目指す上で必要な知識、考え方を学ぶ教科であり、講義形式の授業である。
理解を深める工夫として、また実践に役立つスキル向上の意味も含めて「要約して記録する」という形式を取り、授業時間内にも記録の時間を設けているが、学生さんの中には「時間が足りない」という意見もみられた。一方で、予習や復習の頻度はまだ十分とは言えない。自分の時間を使って振り返る（復習）の時間も必要であるため現行を続けたいと考える。
表現力を高めるための工夫として、伝え合う機会などを増やしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士を目指す学生さんが出席していることもあり、全体的に授業に集中し意欲的に参加している。
さらなる理解を深める工夫と、実践で必要とされるスキルを高める工夫を取り入れていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
心理学と心理的支援Ⅰ	1	前期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必修科目である」61.4%、「資格に必要である」55.7%、「関心のある内容である」41.4%、「単位数を確保する」25.7%、「GPAをあげる」2.9%、「友人が履修している」4.3%であった。本科目は、社会福祉士国家試験受験資格に必修の科目であるため、「必修科目」「資格に必要」と答えた学生の比率が高い。</p> <p>1年次科目であるため、まずは資格取得科目として受講してみようかという学生が中心である。また、本科目は学生が初めて心理学の基礎的理論や研究に触れる科目であることから、できるだけ具体的な例を挙げて、専門性のある概念や言葉に親しみ、関心を深めるようにしている。</p> <p>毎回、授業前に前回の復習として、授業の流れを振り返り、繰り返し説明することで、知識の定着を図った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は70.3点であった。80点以上の理想的レベルの者の割合は26.0%、60点～79点の標準レベルの者の割合は52.0%であった。再試験で合格した者を含めると、採点対象者のうち89.1%の者は標準～理想的レベルの目標達成ができたと考えられる。</p> <p>学生の自己評価においても「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点は4.4点と高かった。</p> <p>授業後の小レポートにおいて、積極的に授業参加する姿勢（態度）がみられたが、アンケートの「学びを深めたいと意欲をもつことができた」の項目も平均点は4.3であり、中央値は5.0であったことから、授業を通して学ぶ意欲を引き出すことができたことが伺える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、卒業必修ではないが、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験必修科目である。また、それらの資格に加え、養護教諭、保育士など対人援助職としての専門性を養うには、人のこころの理解は基礎である。したがって、1年次の心理学と心理的支援の学習は重要でかつ妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価において「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.3であり、教授内容を質、量ともに概ね適切に伝達することができたと考えられる。自由記述に「人の心理っておもしろいなと思わせてくれる授業でした」「日常の例を挙げて説明して下さった点がとてもわかりやすく有難かったです」という意見が得られた。

「授業の課題以外に学習に取り組んだ」学生は、55.7%と半数以上みられ、自発的学習が活発になされたと考えられる。自由記述では、「自分なりにノートをとめた」「教科書を読んだ」などの予習復習や、「わからない専門用語は自分で調べるようにした」「講義で聞いた内容と近いものの文献を読んだ」「図書館に行き本を読んだ」などの発展的学習が含まれていた。

一部、受講生の中に「説明は理解しやすいものであった」に「少しそうではない」と思う方、「質問を受け付け、答える機会が作られていた」に「少しそうではない」と思う方がおられたようである。自由記述に「もう少しわかりやすく解説して欲しいです」という記述がみられた。また、一度も予習をしていない学生は、34%、一度も復習をしていない学生は、20%であった。次回授業の予告やテキストの範囲を説明したり、復習の手がかりとなるよう、授業の終わりに”確認問題”を設けていたが、自主的に取り組むことが難しい学生もいるようである。積極的なオフィスアワーの活用を促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の目的とする基礎的知識の形成について、概ね達成できた。
一部学生に、自主的な予習・復習を行い、日々の授業内容について行くことが難しい学生がいたことから、今後そのような学生に対しても十分な学びを促していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	石川 崇彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
医学概論	2	前期	必修	いいえ	85

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>医学概論は内科学を中心に小児科、精神科、健康、疫学の分野にわたり解剖、生理、主要な疾病についての概念、症状、検査、治療などを解説する系統講義です。疾病の知識は、将来に社会福祉士として医療や福祉分野で他職種のスタッフや、クライアントとその家族らと円滑にコミュニケーションをする上で必要です。社会福祉士の国家試験にこの領域からも例年出題されます。</p> <p>講義で扱う領域は広範でしたので、重要な疾患や過去に国家試験で出題されたことを重点的に、臨床現場での体験をできるだけ織り交ぜながら解説するように心がけました。また重要なポイントとなることは、初出の時だけでなく、後日の講義で関連する事柄を話す時などに、織り交ぜながら繰り返し話しをするようにしました。限られた時間の中で知識の説明に追われるところはありませんでしたが、受講する学生さん達にいろいろと考えてもらおう機会になってくれればと思います、医療現場での様々な問題点などについても出来るだけの話をすようにしました。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>期末試験と授業貢献度の総合判定で、平均値は99.9点(最高100点・最低61点)でした。秀：80名、優：2名であり、ほとんどの学生さんが極めて高得点という結果でした。試験は過去の国家試験から出題し、講義も国家試験を意識して行いましたので、各設問のそれぞれの選択肢の内容を十分に理解できた上での結果でしたら目標は達成できたと思います。個別ではありましたが、講義の後で直接質問に来てくれる学生さんもいて、わかりにくかった部分などをこちらも把握して次の講義で再度説明することも出来ました。また到達度自己評価でもほとんどの項目で「まあまあそうだと思う」以上の評価をした学生さんが大多数でした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門教育科目」の「保健・医療関係科目」です。本科目は必須科目であり、取り扱う基礎的な医学、医療の知識は、保健、福祉、保育といった福祉学科の扱う様々な専門科目の内容と密接に関連しており、学生さんがこれから先の教育過程を学ぶ上で必要な素養であるといえます。国家試験にも出題されますので、早からの学習は効果的と考えます。学生さんの受講態度、試験の結果、到達度自己評価等からみて、カリキュラムマップ、CP、DPにおける位置づけとして内容的妥当性に問題は無いと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートの「授業の質」の評価からは、多くの項目で「まあまあさうだ思う」以上の評価がありました。「学生参加の機会」の評価が低かったのは、知識を伝える系統講義のためであると思います。講義の際に質問の受け付けを呼びかけましたが、講義中に直接質問することは難しかったかもしれません。ウェブ上での質問の受けつけなどをもっと活用すべきであったと考えています。学習量については、あまり予復習に時間を充てなかったと回答した学生さんが半数程度という結果でしたが、個別の回答では授業内容や復習用の問題プリントで十分だったとの意見が複数寄せられました。他の教科の学習に時間も必要ですので、知識がある程度講義の中で消化され、特に学習時間の必要がなかったのであれば十分だったと考えています。その上で更に意欲的に学習時間をもってくれた学生さんもいたことは嬉しいことでした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

国家試験に合格するためには過去問の理解が不可欠ですので、今回は過去問を中心とした試験としました。ほとんどの学生さんが高得点を取っており、よく勉強していたと思います。一方で試験について少し物足りないと感じた学生さんがいたかもしれません。試験の内容については今後は検討が必要かと思えます。講義を終えて改めてスライドや資料などを見返してみると、内容を絞ったつもりで、実際はあれもこれもと欲張りすぎたところがありました。この反省を今後の講義に生かしていきたいと思えます。本科目は、医療、福祉分野で扱う様々な疾患を理解するうえで基礎となるものです。この講義が皆さんのこれからの学びのきっかけになってくれたら嬉しく思います。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 政伸

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教職概論	2	前期	選択	はい	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教職課程の必須科目として位置づけられており、また「教職コアカリキュラム」によって取り扱うべき内容が決められていることから、授業内容の精査は常に行ってきた。</p> <p>②全体を、教職の歴史の変遷、法制度などの基礎的知識理解を深める部分と、教職をめぐるさまざまな具体的事例の考察の大きく二つに分けて、授業を組み立てた。</p> <p>③後半の教職をめぐるさまざまな事例の考察は、昨今強調されている「チーム学校」という考え方を受けて、学校教育を支える多様な機能に焦点をあてて構成した。スクールソーシャルワーカー、不登校対応専任教員、夜間中学教員、院内学級担任、部活指導員などの実践例を映像を通して、教職の幅の広さ、奥の深さの認識を深めた。</p> <p>④学生同士の意見交換を大事にしたいとグループワークを積極的に取り入れた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①評価は、数度のレポート提出の合計点で行った。</p> <p>②90点以上11名、80点以上90点未満16名、70点以上80点未満17名、60点以上70点未満2名、全体の平均点は84.6点であった。ほぼ満点の学生も複数おり、熱心な学生がいることがわかった。</p> <p>③「知識理解」については、授業及びレポートで当該課題についての調べ学習をまず行わせたが、これについては比較的よくできていたと評価できる。しかし、調べ学習をもとに自らの課題としての認識を深めるまでにはまだ十分ではない。2年生ということもあり、まだまだ進路についての自覚や目的意識が明確になっていないからと考えられる。</p> <p>④グループワークを積極的に取り入れたことで成果もあったが、人数が多いこと、学生が慣れていないこともあって活動しているだけというグループがあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性

本科目は、教職課程の科目であり、ほとどの大学でも共通するカリキュラムマップにそっており、内容的な妥当性については問題ないと思う。

②DPについて

教職課程独自のDPではないために、評価項目が授業のねらいと必ずしも整合的でない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①声がかもりがちの上にマスクをしているので、学生に聞き取りづらいという感想が多かったのは大いに反省している。できるだけゆっくり話すことを心がけたい。

②授業中に行った発言に対して批判的な意見があり、それについては真摯に受け止めたいと思う。しかしながら、明らかな誤解、憶測、思い込みによる批判については、納得はしていない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

①1年後期に開講される「教育原理」が教育学への入門的科目であるので、本科目が職業としての教職に関する専門科目としては最初のものである。ガイダンス的な科目として、幅広く学校教師の仕事についての理解を深めようと考えたが、前半と後半で学生の態度に違いがあった。やはりグループワークを取り入れ具体例を考察した後半が反応がよかった。

②次年度からは、自らの課題と感ずることが出来るような授業構成と方法を改善したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	大庭 正美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3	前期	選択	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習指導要領における特別活動及び総合的な学習の時間の位置づけや特質、内容などについて基本的な知識理解を中心としながら、小中学校での指導の実際についても取り扱い、実践的な態度の育成に資する授業に努めた。そのため、できるだけ実践事例の映像資料を活用していった。</p> <p>②授業の終末には授業内容を振り返り、シートに記入させるようにした。そこで出された気づきや疑問などを次の授業の導入で取り扱い、再確認できるようにするとともに、深い学びにつながるように努めた。</p> <p>③授業の内容に応じて、学生自身の学校での経験を想起させ、重ねて考えることができるように促した。そうすることで、理論と実践がつながりやすいようにし、就職後のイメージをもちながら学修できるよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業後の振り返りシート内容及び試験の結果をもとに判定したトータルの成績において、70点以上を獲得した学生が37名中18名であり、そのうち80点台が5名、90点台が1名だった。また、到達度自己評価においては、すべての項目で平均値が4.2を超えており、学科平均と比べてもすべてにおいて上回っていた。特に(7)(8)(10)の項目では学科平均値より0.6～0.7ポイント、他に項目においても0.3～0.5ポイント上回っていた。したがって、上記観点のうちDP1、DP2、DP5共に「達成」と判断した。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

卒業後、学校や家庭・地域の実態や児童生徒の傾向性を考慮して指導に当たる養護教諭をめざす学生にとって、学校経営や教科横断的な健康教育と密接につながっている特別活動及び総合的な学習の時間の指導内容は非常に重要である。したがって、学生には専門分野に限らず学校全体や教職全般への関心を持ち続けることが求められる。そのような意味から、学生の自己評価での項目の中で、(6)「関心・意欲」や(10)「職業選択の参考」が高い評価だったことは教職課程における内容としての妥当性は高いと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の質評価」においては、各項目の平均値がすべて学科の平均値を超えていた。特に項目の(4)(5)は0.6~0.7ポイントも高かったが、その要因としては毎回の授業の振り返りを着眼点ごとに分類整理し、それにコメントを加えて次の授業の冒頭で共有する時間を設定していたことによるのではないかと考える。

また、学校現場の実際場面がイメージしやすくなる映像資料を活用しながら授業を進めたことは、授業の質評価項目の(3)「説明の理解しやすさ」の評価にも繋がっていると思われるし、自由記述欄において「特別活動について分かった。」「特別活動の必要性を実感できた。」といった感想もあることから、今後もその点に関しては重視していきたい。

さらに、感想の中に「この授業を通して教師になりたい気持ちがより高まったので、これからも意欲的に学習に取り組みたい。」というものもあったことから、今後の授業の中でも体験談や学校現場の実際について効果的に取り上げられるように工夫し、教職への志望意欲をより一層高められるように努めていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

将来、養護教諭をめざす学生であるため、特別活動においては健康教育との関連や保健指導との関連などを想定しながら授業を進めていった。特に、教育課程における特別活動の位置づけや役割など、特別活動の教育的意義については繰り返し指導するように努めた。その結果、毎回の授業後の振り返りシートの記述などから、教職に対する意欲が向上していったことが読み取れた。

次年度も、特別活動及び総合的な学習の時間の本質を的確に理解できるようにするとともに、教職課程の授業として、教職への意欲を喚起し、より実践的な資質能力態度が向上するように、一単位時間の授業展開に関してもさらなる工夫改善に努めていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
特別支援教育論	3	前期	選択	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学科の性質上、障害や特別な教育的ニーズについて一定の知識があることを前提に授業を構成した。テキストは一般的に15コマ授業ように編集されているので、教員が最適限必要と考えた内容についてパワーポイントその他の資料を用いて教授した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	受講者が多くテスト結果からは達成状況にバラツキがあった。全体としてはどちらともいえない評価となった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

概ね妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

将来養護教諭を目指す学生にとって、避けることのできない障害あったり特別な教育的ニーズがある児童について実際に出会ったことがある学生ばかりではないので、想像力をどのように開発し、理解を深めていくことができるように8コマの中で授業を構成していくかが課題である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

受講者が多く達成状況にバラツキがあったことは否めない。授業以外に文献等にアクセスし理解を深めるための動機づけに一層の努力を必要とすると考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 政伸

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育方法論	3	前期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教職課程の必須科目として位置づけられており、また「教職コアカリキュラム」によって取り扱うべき内容が決められていることから、授業内容の精査は常に行ってきた。</p> <p>②全体を、教育方法の歴史の変遷、学習指導要領の変遷などの基礎的知識理解を深める部分と、教育方法の理論にしたがったさまざまな具体的事例の考察の大きく二つに分けて、授業を組み立てた。</p> <p>③具体的な実践について、学生同士の意見交換を大事にしたいとグループワークを積極的に取り入れた。</p> <p>④グループワークの実践的力をつけるために、主にKJ法を用いた演習を実施した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①評価は、数度のレポート提出の合計点で行った。</p> <p>②90点以上3名、80点以上90点未満19名、70点以上80点未満10名、60点以上70点未満4名、履修中止1名、全体の平均点は80.3点であった。全体としては満足できるであろうが、とびぬけた学生が少ないとの印象を受ける。</p> <p>③「知識理解」については、授業及びレポートで7当該課題についての調べ学習をまず行わせたが、これについては比較的よくできていたと評価できる。しかし、調べ学習をもとに自らの課題としての認識を深めるまでにはまだ十分ではない。</p> <p>④グループワークを積極的に取り入れたことで成果もあったが、3年生の場合これまでの2年間がオンライン授業中心であったことから対面での授業を嬉々として楽しんでいる雰囲気があった。しかし一部には、人数が多いこと、学生が慣れていないこともあって活動しているだけというグループがあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性

本科目は、教職課程の科目であり、ほとどの大学でも共通するカリキュラムマップにそっており、内容的妥当性については問題ないと考ええる。

②DPについて

教職課程独自のDPではないために、評価項目が授業のねらいと必ずしも整合的でない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①声がかもりがちの上にマスクをしているので、学生に聞き取りづらいという感想が多かったのは大いに反省している。できるだけゆっくり話すことを心がけたい。

②授業中に行った発言に対して批判的な意見があり、それについては真摯に受け止めたいと思う。しかしながら、明らかな誤解、憶測、思い込みによる批判については、納得はしていない。とりわけ、事前のレポートの添削指導を「不公平」だという認識には、不満である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

①2年時に履修した科目に引き続き、教職に関する専門科目としてはかなり専門的内容を含んだものである。これまでの学生自身の教育・学習体験を相対化、理論化できるようにとのねらいから取り組んだグループワークによる具体例の検証は、学生の反応がよかった。やはり「教育方法」という科目は、それ自身が教育実践として学生に提示されてしかるべきものであると改めて認識した。

②次年度からは、授業を通して学生自らの課題と向き合うことが出来るような授業構成と方法を改善したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
道徳教育の理論と実践	2	前期	選択	はい	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目であるため、学生の意識の上では準備がある程度なされていると考える。ただし、小中時代の道徳教育の実施状況から考えて、非常に意識しにくい科目であると予想される。そのため本授業では授業実践としての道徳教育を具体的な形で意識できることをひとつの焦点とした。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>○2021年度 全体平均81.3、福祉学科平均81.9、秀28.6%、優52.4%、良11.9%、可7.1%、不可0.0% 標準偏差7.86</p> <p>○2022年度 全体平均77.8、福祉学科平均76.9、秀16.7%、優39.6%、良29.2%、可4.2%、不可8.3% 標準偏差12.61</p> <p>○本年度は福祉学科平均は全学科平均程度であった。昨年度と比較すると秀と優の割合が減少しており、標準偏差も5点ほど大きくなっている。</p> <p>○合格基準となる学習指導案作成の基本的事項に問題のある学生が目立った印象がある。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目ということ、また従来型の理論偏重の道德教育ではない実践的アプローチを採用しているということを鑑み、内容的な妥当性はあると考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○授業の進め方としては(1)道德とは何かという理論編(2)日本の学校教育における道德教育の位置づけ(3)学習指導案の構造と授業の実際(4)自分で道德の授業を組み立てる、というものであった。</p> <p>(3)と(4)に関しては同時並行という形になり、常に自分ならどのような授業にしたいかを考えて授業に参加することを求めた。</p> <p>○本年度は実際の学校現場で用いられている各種資料の参照、理解度を深めるための課題等について多様な形式を工夫した。</p> <p>○指導案作りに関しては、いくつかの段階を踏んで作成できるよう課題作成・提出を組み合わせた。</p> <p>○今年度は道德教育の評価に関する学習を強化した。</p> <p>○児童生徒を意識した授業づくりの楽しさを一層感じることができる授業としたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>○達成状況は満足できるレベルにある。</p> <p>○次年度は各自が自分自身の伝えたい道德テーマを指導案の形で表現できるよう、内容や方法を改善したい。今年度は動画の授業実践の視聴と検討に時間をかけたが、これは比較的理解を深めるきっかけとなったと思う。次年度も同様の試みを継続する予定である。</p> <p>○不可となった学習指導案は授業についての最低限の取り組みに課題があると考えられる。教職志望の動機付けを含めた対応を検討したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	福祉学科
氏名	渡邊 義隆

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生徒指導論	3	前期	選択	はい	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①3年生になり全員が資格取得を目指すわけではないが、厳しい職業と言われていた教員を目指す学生の目的意識が非常に高い学生がそろっていたこと、福祉学科の先生方の学生に対する前向きな指導のおかげであると推察される。</p> <p>②授業については、基本的な教育法規や生徒指導に関する知識を学習させた。特に最も重視したことは学生が教師として教壇に立った時にすぐに必要となる対応・指導・その後の見守り・保護種対応を実際の事例を検討する授業を展開させた。</p> <p>③さらに重視した点は授業のまとめを書かせる習慣をつけさせ、そのことが論文を書くことの苦手意識をなくす、更には自分の考えを論文にまとめることができるように指導を行った結果、最終試験である論文が非常にレベルの高いものとなった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①最終的な成績は80点以上であり、理想レベルを上回る結果となった。</p> <p>②目標別にみるとすべての項目で「かなり」「わりに」「まあまあ」で100%であり、すべてが肯定的回答となった。教職の免許取得に意欲的である学生がそろったことを踏まえると、授業が非常に前向きに進められたことから、すべての項目において目標に達したと考えられる。</p> <p>③昨年度の反省から授業形態についてはグループ学習を多く取り入れる予定であったが、今年度もコロナの関係上グループ討議を行うことができなかった事は残念であったが、授業の中で個々の学生からの発言を多く求め学生も積極的に発言をすることができたことは、学生からの担当教員への意見を見たと好意的であり、目標を達成できたと考える。</p> <p>④「学習準備性」はほとんど行われていない現状は学生のアンケートによると「授業の中で十分に理解できる」との内容であった。</p> <p>⑤ほとんどの結果で肯定的回答を得られたことは、学校現場の具体的事例を中心に教師が様々な状況に対してどのように対応するか学習できたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上における本科目の位置付けから見ての内容の妥当性としては、教員免許の取得に向けた受講であり学生の志向に応えるために、まさに現場の生の状況に触れることにより、対応や指導を学ぶことができる授業であり妥当性があるものと思われる。

②「学習到達度の自己評価」ではすべての項目で肯定的回答であり授業の到達度の目標が達成できたと言える。

③自由記述では学生が教員を目指すにあたり良い職業選択ができるよう授業を進めてきたことから、担当教員への感謝の記述などをいただき教員を目指して努力する学生の一助になったと考えることができた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においてもすべて肯定的回答であり、事例を取り上げて検討する機会を多く作ったこと、また担当教員が実際の学校現場で対応してきた実例を示しながら授業を進めた結果と考えられる。

学生の意見としては、ほとんどが「授業内で理解できた」「授業の説明だけで十分理解することが出来たから」との回答であったが、「どうやって勉強すれば良いかわからなかった」という意見があったことは、来年度の授業の進め方について改善しなくてはならない。

できれば様々な意見を聞けることのできるグループ学習を来年度取り入れられるとより授業が充実すると思われる。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

総合評価として、概ね良好であった。昨今、教師という職業は非常に大変である職業のように言われているが、子ども達の成長する姿、人生の一部分であるが関わることのできる素晴らしい職業であることを、学生に伝えることができたのではないかと総合評価を感じる事ができた。

課題としてはやはり主体的に学生が授業に参加できる授業づくりができるように努力して参りたい。